

# 福山市次世代育成支援対策推進行動計画

年次報告書

《2008年度(平成20年度)》

2009年(平成21年)5月

福 山 市

## 目 次

総 括	1 頁
目標数値等の変更について	5 頁
個別事業の実施状況等報告書（継続事業）	7 頁
個別事業（新規事業）報告書	50 頁

基本理念

みんなで創る 子育てNo.1 ONLY. 1のみち ふくやま

基本目標

◎みんなで創る 新しい生命に出会い、育てる幸せを実感できるまち  
 ◎みんなで創る 子どもが希望をもって 生き生きと育つ喜びのあるまち  
 ◎みんなで創る 心と心で支え合う やさしさあふれる子育てのまち

基本方針 1 安心できる母子保健の推進		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値	ま と め
<b>基本施策</b> ・具体的な施策の実施状況 <b>1 妊娠・出産期の支援</b> ・全小学校区1名以上の「子育て支援ボランティア」の配置（養成） ・こんにちは赤ちゃん訪問事業【新規】		子育て支援ボランティアの配置	52小学校区(2004年度)	68/78小学校区	70/78小学校区	全小学校区(2012年度)	妊婦一般健康診査を充実させるとともに、妊娠中から乳児期の育児不安の解消を図る「すこやか育児サポート事業」を引き続き行った。また、「子育て支援ボランティア」の養成を推進し、70小学校区まで拡大した。また、生後4か月までの児童のいる家庭に子育て支援ボランティア等が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」がスタートし、全数訪問を目標に計画的に進めている。 また、乳幼児健康診査の受診率向上の取組みや、保健師等による訪問指導や乳幼児健康相談等で、食育の啓発などを実施し、子どもの心身の健全な発育・発達を支援した。 さらに感染症に関しては、早期に定期予防接種を受けるよう家庭訪問、乳幼児健康相談等の保健事業や保育所（園）、学校での啓発を行い、まん延防止に努めている。
		乳児訪問率	データなし	—	49.6%	100%(2009年度)	
<b>2 乳幼児期から思春期までの保健対策</b> ・食生活改善推進事業 子ども料理教室・講演会等食育をテーマにした講座開催 ・健康診査(乳児一般、4か月児、1歳6か月児、3歳児)の実施 ・予防接種の勧奨と情報提供 ・学校の無煙化の推進(全校敷地内全面禁煙実施)		朝食を欠食する習慣のある児童	1歳6か月児 9.6%(2001年度) 3歳児 10.4%(2001年度)	1歳6か月児5.7%、3歳児9.9% 小学3年生 4.7% 中学2年生20.1%	—	0%(2012年度)	
		・受診率(1歳6か月児) ・受診率(3歳児)	89.0%(2001年度) 82.4%(2001年度)	90.8% 85.7%	91.9% 89.9%	95%以上(2012年度) 90%以上(2012年度)	
		・BCGの予防接種終了児童(6か月児) ・麻しんの予防接種終了児童(1歳6か月児)	データなし 70.0%(2001年度)	97.4% 89.4%	96.9% 90.6%	90%以上(2012年度) 90%以上(2012年度)	
		校内全面禁煙校	小中学校61校(2004年度)	小中高等学校115校/115校	小中高校115校/115校	全校実施(2007年度から)	
<b>3 楽しい育児の実現</b> ・乳幼児健康相談の実施		夜10時までに寝る児童	1歳6か月児50.8%(2001年度) 3歳児 49.83(2001年度)	68.0% 61.1%	80.2% 76.7%	1歳6か月児80%以上(2012年度) 3歳児 80%以上(2012年度)	
<b>4 小児医療の充実</b> ・在宅当番医、小児二次救急輪番体制の充実、福山市医師会による夜間小児診療所の診療の充実			2007年度実施状況 休日昼間一次診療 9医療機関(小児科含当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山市医師会館)		2008年度実施状況 休日昼間一次診療 9医療機関(小児科含当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山市医師会館)		
基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値	ま と め
<b>基本施策</b> ・具体的な施策の実施状況 <b>1 保育所その他の施設での保育サービスの充実</b> ・保育を必要とする児童の全員入所を基本に、保育内容の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応した保育サービスを提供		・保育所入所児童数	11,873人(2004年度)	12,018人	12,167人	12,000人(2009年度)	
		・延長保育実施箇所数					
		1時間延長	114箇所(2004年度)	112箇所	112箇所	105箇所(2009年度)	
		2時間延長	4箇所(2004年度)	5箇所	4箇所	13箇所(2009年度)	
		3時間以上延長	1箇所(2004年度)	3箇所	3箇所	4箇所(2009年度)	
		・休日保育実施箇所数	6箇所(2004年度)	6箇所	6箇所	5箇所(2009年度)	
		・病児・病後児保育実施箇所数	2箇所(2004年度)	3箇所	4箇所	5箇所(2009年度)	
		・一時保育実施箇所数	72箇所(2005年度)	70箇所	71箇所	75箇所(2009年度)	
		・夜間保育実施箇所数	2箇所(2004年度)	2箇所	2箇所	2箇所(2009年度)	

【新規】2008年度新規事業のもの

2008年度（平成20年度）実施状況 総括表

基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値	ま と め	
<b>基本施策</b> ・具体的な施策の実施状況 ・「短期入所生活援助事業(ショートステイ・トワイライト)」 保護者の疾病や仕事等で、家庭で保育ができない場合に児童養護施設や乳児院で短期預かりを実施 ・ファミリー・サポート・センター事業 子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支える事業を推進		・ショートステイ実施箇所数 ・トワイライト実施箇所数 ・協力会員数	2箇所(2004年度) 2箇所(2004年度) 114人(2004年度)	2箇所 2箇所 164人	2箇所 2箇所 175人	2箇所(2009年度) 2箇所(2009年度) 190人(2009年度)	地域子育て支援センター事業や、まなびの館ローズコムへの移転によるふくやま子育て応援センター事業の拡充によって、地域の多様な子育て支援ニーズに対応し、また、放課後児童クラブ事業の拡充、女性の再チャレンジ支援事業などによって、子育てと仕事の両立支援を推進した。子育て支援情報のガイドブック2008年度版を発行し、子育て家庭への情報提供を継続的に行った。 2007年度からの児童手当の3歳未満の手当額の引き上げや、乳幼児等医療費助成などの継続により、子育て家庭に対する経済的な支援を充実した。	
<b>2 地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実</b> ・地域子育て支援センター事業の充実 保育所等を拠点として子育て家庭への子育て支援事業を展開 ・幼稚園事業での子育て支援事業の展開				公立 7箇所 私立 10箇所	公立 7箇所 私立 12箇所			
<b>3 子育て家庭に対する情報提供の充実</b> ・2008年7月「あんしん子育て応援ガイド2008」を継続して発行 ・子育て支援ホームページの充実				2007年度版発行 掲載内容の充実	2008年度版発行 掲載内容の整理			
<b>4 子育てと仕事の両立支援の推進</b> ・放課後児童クラブ事業 保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校等の施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供 ・女性の再チャレンジ支援事業【新規】 出産・育児等で離職し再就職を希望する女性のための合同就職面接等開催		実施箇所数	75箇所(2004年度)	75箇所	75箇所	75箇所(2009年度)		
<b>5 子育て家庭に対する経済的な支援</b> ・2007年4月から「児童手当」の3歳未満の手当額を拡充、及び「乳幼児等医療費助成」等の経済的支援事業の継続 ・2005年度から実施している「幼児インフルエンザ予防接種補助事業」を継続 ・保育所保育料の多子軽減								
<b>基本方針 3 次代を担う世代の育成</b>		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値		ま と め
<b>基本施策</b> ・具体的な施策の実施状況 <b>1 生きる力を育成する学校の教育環境の整備</b> ・不登校児童生徒への取組（適応指導教室「かがやき」の運営、スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進等） ・確かな学力の向上 子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし選択能力を向上させる取組みの推進 ・少人数指導推進支援事業の推進 基礎学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善 ・北京市教育交流推進事業【新規】 生徒の国際的視野や感覚を身に付け、国際交流を図る ・英語教育の推進 実践的コミュニケーション能力の育成を図り、国際理解教育を推進 ・豊かな心の育成 「チャレンジ・ウィークふくやま(職場体験学習)」の実施、ボランティア活動や乳幼児との交流など社会体験活動の充実		不登校児童生徒出現率 「基礎・基本定着状況調査」 県平均値以上の教科数 (2007年度まで基礎基本定着状況調査の正答率) 指定校では年間計画授業数の80%以上で少人数指導を実施	1.58% 小学校 国語75.4%、算数78.4%、 中学校 国語80.9%、数学68.8%、 英語72.5% (2006年度)	1.55% 小学校 国語62.7%、算数74.4%、 中学校 国語71.6%、数学65.9%、 英語70.7%	1.44% 小学校：0科目/2科目 中学校：0科目/3科目	1.17%(2010年度) ●小学校：2科目/2科目 中学校：1科目/3科目		学校教育においては、子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得を図り、英語教育の推進、北京市教育交流推進事業を通じて国際理解教育をすすめる、「確かな学力の向上」に努めた。また、適応指導教室の運営やスクールカウンセリングプロジェクト事業を実施し、不登校児童生徒への取組を図った。 チャレンジウィークふくやま(職場体験学習)、公共施設での中高校生のインターンシップの受け入れも継続して実施した。 また、放課後子ども教室の内容の充実や、子育て支援ボランティアの養成等を通して、地域住民の子育て力の向上の支援と連携を図った。
<b>2 家庭における教育力の向上</b> ・公民館において親子のふれあいや保護者同士の交流を図る「子育て支援交流事業」を推進		事業開催箇所数	全地区公民館(73館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	全地区公民館(79館)で実施		
<b>3 地域における教育力の向上</b> ・子どもと地域住民との交流、子どもが安全・安心していられる場所として「放課後子ども教室(子どもの居場所づくり事業)」を推進 ・職場体験学習・インターンシップの受け入れ 中高校生の勤労体験学習の実施		実施箇所数	22箇所(2004年度)	33箇所	38箇所	全学区で実施 (2009年度)		
<b>4 次代の親の育成</b> ・保育所等において、中学生など異世代との交流を実施								
<b>【新規】2008年度新規事業のもの</b>								
2009年度新規事業 * 子ども議会 * 子ども読書活動推進計画策定事業 * 小・中・高校生までの特別展観覧の無償化 * マウイ高校生派遣事業								

【新規】2008年度新規事業のもの

2008年度（平成20年度）実施状況 総括表

基本方針 3 次代を担う世代の育成		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値	ま と め
<b>基本施策</b> ・ 具体的な施策の実施状況 5 児童生徒の健全育成の推進 ・ 性の逸脱行為、問題行動に対する指導や関係機関との連携を推進							
6 地域全体との協働による子育て支援の推進 ・ 子育て支援ボランティアの養成、ファミリー・サポート・センター事業等を通して、地域の子育て力の向上を支援							
基本方針 4 援助を必要とする子育て家庭への支援		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値	ま と め
<b>基本施策</b> ・ 具体的な施策の実施状況 1 児童虐待防止対策の充実 ・ 「福山市児童虐待防止等ネットワーク」活動の推進 ・ 関係機関の連携を強化するとともに、児童虐待防止啓発講演会・研修会の開催、啓発用懸垂幕・リーフレットの作成、オレンジリボンキャンペーンなど啓発事業を展開 ・ 育児支援家庭訪問事業の充実 2 ひとり親家庭等の自立支援の推進 ・ 自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費の支給 ・ ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業 ・ ひとり親家庭の親の就業等による自立を支援 3 障がい児施策の充実 ・ 特別支援教育に向けた校内体制の整備等障がい児教育の充実 ・ 障がい者等総合相談事業の「子ども発達相談室」の実施 ・ 障がい児通園施設利用者負担軽減事業など障がい福祉サービス等の充実		虐待していると思ったこと	就学前12.7%(2003年度) 小学生 9.3%(2003年度)	-	就学前30.4%(2008年度) 小学生30.7%(2008年度)	減少(2009年度)	「福山市児童虐待防止等ネットワーク」の円滑な運営に努め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に取り組むとともに、市民啓発事業を推進した。また、助産師等の家庭訪問により、育児不安を抱える家庭の支援を行う育児支援家庭訪問事業をこころには赤ちゃん訪問事業等と連携して実施した。 生活基盤が脆弱であること多いひとり親家庭については、教育訓練給付金事業等のほか、ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業を推進し、ひとり親家庭の親の就業・自立を支援した。 学校教育においては、特別支援教育に向けて相談体制、支援体制の整備を図った。 障がい児通園施設利用者負担軽減事業、重症心身障がい児(者)通園事業により支援の充実を図り、障がい者等相談事業として「子ども発達相談室」を推進した。
<b>基本施策</b> ・ 具体的な施策の実施状況 1 安全で、安心して子育てができるまちづくりの推進 ・ 「ユニバーサルデザイン」を基本とした事業の推進 2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 ・ 「子ども110番事業ネットワーク会議」開催、「子ども110番の家」事業の推進、スクールサポートボランティア等子どもを犯罪被害から守る活動を推進 ・ 「福山市生活安全連絡会議」による「子どもの安全対策」の推進 ・ 青色回転灯を装備した生活安全パトロール車による子どもの見守り活動及び地域青色防犯パトロール実施団体支援事業の展開 ・ 児童安全啓発事業 保育所・幼稚園・小学校の児童を対象とした、子ども安心安全啓発ガイドブックの配布、活用 ・ 地域安全マップ普及推進事業 「地域安全マップセミナー」を開催し指導者を養成・派遣し地域防犯を推進 ・ 子どもの安全確保 通学路沿い公共施設への防犯カメラシステムの設置及び、小学校新入生への防犯ブザー、ランドセルシールの配布の継続した実施 ・ 緊急通報システムの整備 市内の保育所、幼稚園、放課後児童クラブへ緊急通報システムを整備 ・ 不審者情報等配信事業の実施 児童の安全確保のため、児童の保護者等に不審者情報等をメールで配信 3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ・ 「少年社会環境浄化モニター」による実態調査及び啓発活動を実施 4 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 ・ 保育所、幼稚園、小学校児童を対象とした「交通安全教室」の開催				子ども110番の家協力軒数 5,848軒	子ども110番の家協力軒数 5,968軒		「ユニバーサルデザイン」の啓発・推進、及び、地域、警察と連携して防犯体制の整備や青少年補導員協議会やPTA等との連携による青少年の非行防止活動を継続して実施した。 また、「子どもの安全対策」として、保育所・幼稚園・放課後児童クラブへの緊急通報システムの整備、不審者情報等配信、通学路の安全対策事業等に引き続き取り組んだ。地域においても、地域安全マップ普及推進事業を進めるとともに、住民による子どもの通学時の見守り活動が、「協働」の取組みとして継続されている。
<b>基本方針 5 子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備</b> <b>基本施策</b> ・ 具体的な施策の実施状況		指 標	現状値（計画初期値）	2007年度実績	2008年度実績	目 標 値	ま と め
1 安全で、安心して子育てができるまちづくりの推進 ・ 「ユニバーサルデザイン」を基本とした事業の推進							
2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 ・ 「子ども110番事業ネットワーク会議」開催、「子ども110番の家」事業の推進、スクールサポートボランティア等子どもを犯罪被害から守る活動を推進 ・ 「福山市生活安全連絡会議」による「子どもの安全対策」の推進 ・ 青色回転灯を装備した生活安全パトロール車による子どもの見守り活動及び地域青色防犯パトロール実施団体支援事業の展開 ・ 児童安全啓発事業 保育所・幼稚園・小学校の児童を対象とした、子ども安心安全啓発ガイドブックの配布、活用 ・ 地域安全マップ普及推進事業 「地域安全マップセミナー」を開催し指導者を養成・派遣し地域防犯を推進 ・ 子どもの安全確保 通学路沿い公共施設への防犯カメラシステムの設置及び、小学校新入生への防犯ブザー、ランドセルシールの配布の継続した実施 ・ 緊急通報システムの整備 市内の保育所、幼稚園、放課後児童クラブへ緊急通報システムを整備 ・ 不審者情報等配信事業の実施 児童の安全確保のため、児童の保護者等に不審者情報等をメールで配信				セミナー開催 1回 指導者登録24人、派遣 2回	セミナー開催 1回、指導者登録累計76人・派遣12回、用品貸出18回		
3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ・ 「少年社会環境浄化モニター」による実態調査及び啓発活動を実施				防犯カメラシステムの設置 3カ所	防犯カメラシステムの設置 3カ所		
4 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 ・ 保育所、幼稚園、小学校児童を対象とした「交通安全教室」の開催				保育所115、幼稚園41、放課後児童クラブ72施設に整備			

2009年度新規事業  
 \* 都市公園バリアフリー化整備事業  
 \* 自転車利用者対策事業

【新規】2008年度新規事業のもの

## 2008年度（平成20年度）実施状況 総括表

### 総 括

○行動計画の4年度目にあたる2008年度(平成20年度)は、概ね着実に事業が進められた。今後の事業展開にあたっては、国・県・他都市の動向や地域のニーズ、財政状況等総合的に勘案して本行動計画を着実に推進する。

○本行動計画と整合性を図っている「健康ふくやま21」等の計画や、各事業の実施状況に応じて、目標数値の見直し等を行い、新たな目標に向けて計画を推進していく。

○2008年度(平成20年度)は、「子どもの安全対策」を引き続き進め、子どもを犯罪等の被害から守る事業を積極的に展開するとともに、市民の高い関心のもと、地域と協働した取り組みを継続した。

○新しい事業や制度の計画・実施については、効果的かつ効率的に市民へ情報提供を行う中で実施する。

〔計画当初〕			
基本方針	5	基本施策	22
個別事業数	86(重複を除く)		
うち数値目標設定事業			17
〔2008年度〕			
個別事業数	123(重複を除く)		
うち			
新規追加事業			5
数値目標設定事業			27
〔2009年度〕			
個別事業数	123(重複を除く)		
うち			
新規追加事業			6
数値目標設定事業			29

## 福山市行動計画における2009年度(平成21年度)目標数値等の変更について

### 2006年度変更分

コード	個別事業名	指 標	現 状 値 (計画初期値)	2005年度実績	目 標 値 (変更前)	目 標 値 (変更後)	変 更 理 由
1-2-9	学校の無煙化	校内全面禁煙校	小中学校61校 (2004年度)	小中学校89校/105校	全校実施 (2005年度)	全校実施 (2007年度から)	神辺町との合併による変更
2-1-1	保育サービスの充実 ◇保育所入所児童数	保育所入所児童数	10,755人(2004年度) ※1,118人(2004年度)	10,907人 ※1,172人	10,800人(2009年度) ※1,208人(2009年度)	12,000人 (2009年度)	
		◇延長保育	延長保育実施箇所数				
	1時間延長		103箇所(2004年度) ※11箇所(2004年度)	103箇所 ※11箇所	94箇所(2009年度) ※11箇所(2009年度)	105箇所 (2009年度)	
		2時間延長	3箇所(2004年度) ※1箇所(2004年度)	3箇所 ※1箇所	12箇所(2009年度) ※1箇所(2009年度)	13箇所 (2009年度)	
◇一時保育	1日あたりの最大受入児童数		81人(2004年度) ※55人(2004年度)	153人 ※16人	135人(2009年度) ※28人(2009年度)		目標数値の達成、神辺町との合併及び国の目標指数(実施箇所数)に合わせた変更
		→●実施箇所数		64箇所 ※8箇所		75箇所 (2009年度)	
2-1-4	放課後児童クラブ事業	実施箇所数	67箇所(2004年度) ※8箇所(2004年度)	67箇所 ※8箇所	68箇所(2009年度) ※8箇所(2009年度)	75箇所 (2009年度)	神辺町との合併による変更
2-2-7	子育て支援交流事業	事業開催数	地区公民館で 69回開催		地区公民館で 73回開催		目標数値の達成及び神辺町との合併による変更
		→●事業開催箇所数		全地区公民館(73館)で開催		全地区公民館 (79館)で開催	
3-3-4	地域子ども教室(子どもの居場所づくり事業)	実施箇所数	16箇所(2004年度) ※6箇所(2004年度)	25箇所 ※6箇所	72箇所(2006年度) ※6箇所(2006年度)	36箇所 (2006年度)	事業の進捗状況に合わせた変更

下段※は、神辺町分

### 2007年度変更分

コード	個別事業名	指 標	現 状 値 (計画初期値)	2006年度実績	目 標 値 (変更前)	目 標 値 (変更後)	変 更 理 由
1-2-2	食生活改善推進事業	講話会等の開催回数	各小学校1.5回 (2006年度)	各小学校1.5回		各小学校2回 (2007年度)	新たに目標数値を設定
2-1-7	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター協力会員数	114人 (2004年度)	161人	160人	190人 (2009年度)	目標値の達成による変更
3-1-1	確かな学力の向上	基礎基本定着状況調査の正答率を全実施教科で80%以上	小学校:国75.4%,算78.4% 中学校:国80.9%,数68.8% 英72.5%(2006年度)	小学校:国75.4%,算78.4% 中学校:国80.9%,数68.8%,英72.5%		80% (2010年度)	新たに目標数値を設定
3-1-3	読書教育の推進	全学校における学校図書館図書標準の達成	小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校 (2006年度)	小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校		全校100% (2007年度)	新たに目標数値を設定
3-1-5	不登校児童生徒への取組	暴力行為、いじめ、不登校児童数			半減		目標指標を「不登校児童生徒出現率」に変更
		→●不登校児童生徒出現率	1.58% (2006年度)	1.58%		1.17% (2010年度)	
3-3-4 (3-5-7)	子どもの居場所づくり事業(地域子ども教室)の推進	地域子ども教室実施箇所数	22箇所 (2004年度)	36箇所	36箇所 (2006年度)	全区で実施 (2009年度)	事業内容の充実及び進捗状況に合わせた変更 「地域子ども教室」→「放課後子ども教室」に2007年度から変更

## 福山市行動計画における2009年度(平成21年度)目標数値等の変更について

### 2008年度変更分

コード	個別事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2007年度実績	目標値 (変更前)	目標値 (変更後)	変更理由
1-2-2	食生活改善推進事業	朝食を欠食する習慣のある児童・生徒	1.6歳児 9.6% 3歳児 10.4%	1.6歳児 5.7%, 小学3年生 4.7% 3歳児 9.9%, 中学2年生 20.1%	1.6歳児及び3歳児 0%	1.6歳児及び3歳児 0% 小学3年生及び中学2年生 0%	小学3年生及び中学2年生も対象にした
3-1-3	読書教育の推進	全学校における学校図書館図書標準の達成	小学校: 国75.4%, 算78.4% 中学校: 国80.9%, 数68.8% 英72.5%(2006年度)	全校100%超	全校100% (2007年度)		目標達成により目標数値の設定解除
1-1-5	こんにちは赤ちゃん訪問事業	乳児全数訪問率				100% (2010年度)	2008年度新規事業

### 2009年度変更分

コード	個別事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2008年度実績	目標値 (変更前)	目標値 (変更後)	変更理由
1-1-4	訪問指導(すこやか育児サポート事業、産後うつ病質問票を使用した訪問)	ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	—	—	100% (2012年度)		数値目標の削除 こんにちは赤ちゃん訪問事業において乳児全数訪問を目標としているため
3-1-1	確かな学力の向上	基礎基本定着状況調査の正答率 →「基礎・基本定着状況調査」県平均値以上の教科数	小学校: 国75.4%, 算78.4% 中学校: 国80.9%, 数68.8% 英72.5%(2006年度)	小学校: 0科目/2科目(2008年度) 中学校: 0科目/3科目(2008年度)	全実施教科で 80%以上	小学校: 2科目/2科目(2011年度) 中学校: 1科目/3科目(2011年度)	目標指標の変更
3-1-1	確かな学力の向上 (少人数指導推進支援事業)	指定校では年間計画授業数の80%以上で少人数指導を実施		100% (50校)		100%	新たに目標数値を設定
3-1-2	英語教育の推進	中学校全クラスが、2週間に1回はALTと授業をする				100%	新たに目標数値を設定

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-1 (1-3-1・2-2-6・2-3-4・3-6-2・4-1-2)	1-1-2	1-1-3
担当部課	保健部総務課	保健部健康推進課	保健部健康推進課	
具体的な施策 (個別事業名)	子育て支援ボランティア事業	母子健康手帳の交付	妊婦一般健康診査	
事業概要	市保健師と連携して家庭訪問等により、保護者の話し相手になったり、子育ての情報提供を行うことが出来るように、子育て支援ボランティアを養成するもの	安全な妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録など母子が自らの健康管理に活用するための母子健康手帳を交付し、母子保健事業を啓発するもの	医療機関において、問診、診察、血液検査等を行い、妊婦の健康確保を図るもの	
数値目標等	子育て支援ボランティアの配置	—	—	
現状値	52小学校区(2004年度)	—	—	
目標値	すべての小学校区(2012年度)	—	—	
08年度実施状況等	実績値	70小学校区/78小学校区	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<p>○全小学校区に1名以上の子育て支援ボランティアを登録(養成)することを目標に、2003年度から子育て支援ボランティアの養成を実施した。</p> <p>○こんにちは赤ちゃん訪問事業等に必要内容を養成講座に追加した。</p> <p>○2008年度の養成により新規登録者数15名、全登録者数196名となり、78小学校区中、70小学校区が登録済みとなった。</p> <p>○フォローアップ研修を開催した。 回数:3回 参加者:延105名</p> <p>【課題】 今後は、未登録学区を中心に募集を行う。</p>	<p>市民課、各支所・分室等で妊娠届けをした人に交付している。</p> <p>交付数 4,789冊</p> <p>(外国語日本語併記母子健康手帳も含む。その種類は、ポルトガル語・タガログ語・中国語・英語・ハンダ語・タイ語・インドネシア語・スペイン語の8か国である。)</p>	<p>妊婦が、かかりつけ医において、妊婦一般健康診査を受診しているうちの5回分について、市が交付した妊婦一般健康診査受診票を使用して受診している。</p> <p>受診件数 29,717件</p>	
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
(予算額:千円)	139	1-2-4に含む	472,565	
備考 (特記事項)	子育て支援ボランティアの活動については、健康推進課及び各保健事業実施課と連携し支援する。			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-4 (1-2-5・1-3-2)	1-1-5	1-2-1																
担当部課		保健部健康推進課	保健部健康推進課	保健部健康推進課																
具体的な施策 (個別事業名)		すこやか育児サポート事業	こんにちは赤ちゃん訪問事業	乳幼児の事故防止																
事業概要		産婦人科医、小児科医、市保健師が協力し、妊娠中から乳児期の子育て不安に対して、小児科医の保健指導や市保健師の家庭訪問を行い、不安の軽減を図るもの	生後4か月までの乳児のいる家庭に、子育て支援ボランティア等が訪問し、育児についての情報提供をするとともに、親子の心身の状況や養育環境を把握するもの 支援が必要な家庭に対しては、関係機関と連携を図り、継続した支援を行う	不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取り組みをするもの																
数値目標等		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2007年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊娠・出産に満足している人</td> <td>データなし</td> <td>79.6%</td> <td>100% (2012年度)</td> </tr> <tr> <td>妊婦の喫煙率</td> <td>データなし</td> <td>12.9%</td> <td>0% (2012年度)</td> </tr> <tr> <td>●ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握</td> <td>データなし</td> <td>48.3%</td> <td>100% (2012年度)</td> </tr> </tbody> </table>		現状値	2007年度	目標値	妊娠・出産に満足している人	データなし	79.6%	100% (2012年度)	妊婦の喫煙率	データなし	12.9%	0% (2012年度)	●ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	データなし	48.3%	100% (2012年度)	乳児訪問率	4歳までの不慮の事故死亡率 (人口10万対)
		現状値	2007年度	目標値																
	妊娠・出産に満足している人	データなし	79.6%	100% (2012年度)																
妊婦の喫煙率	データなし	12.9%	0% (2012年度)																	
●ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	データなし	48.3%	100% (2012年度)																	
現状値			—	15.3% (2001年)																
目標値			100% (2010年度)	0% (2012年)																
実績値			49.6%	—																
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】																
08年度実施状況等	実績内容 及び課題等	<p>○ハイリスク妊婦及びハイリスク児等の、訪問を実施して育児不安の軽減に努めるとともに、育児支援家庭訪問事業と連携してハイリスク家庭を支援している。</p> <p>○すこやか育児サポート事業 81件</p>	<p>訪問対象4,463件に対し、訪問実績2,213件(49.6%)であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援ボランティア 860件</li> <li>・保健師 1,353件</li> </ul> <p>【課題】 出生時に保護者が提出する「赤ちゃん誕生届出カード」の情報及び同意書を基に子育て支援ボランティアに訪問依頼している。しかし、「赤ちゃん誕生届出カード」の提出率は90.4%・同意率は64.8%であり、同意がない場合は子育て支援ボランティアに依頼できない。</p>	<p>乳幼児健康相談及び乳幼児健康診査時などで事故防止についての啓発をしている。</p> <p>【参考】 2005年 1件(4.9%) 2006年 1件(4.6%) 2007年 2件(9.1%)</p>																
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 すこやか育児サポート事業 110件	【継続 ■ 廃止 □】 訪問予定 4,500件 子育て支援ボランティア 2,000件 育児支援家庭訪問員 1,500件 保健師 1,000件  「赤ちゃん誕生届出カード」を改善することにより、訪問件数の増加を図る。	【継続 ■ 廃止 □】 4歳までの不慮の事故死亡率(人口10万対)0%を目指して、各年齢(月齢)に応じた不慮の事故の予防について啓発する。																
(予算額:千円)		1-1-5に含む	16,453	1-2-4に含む																
備考 (特記事項)		●数値目標の削除 こんにちは赤ちゃん訪問事業において乳児全数訪問を目標としているため		人口動態は、年度の集計はできない																

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-2	1-2-2	1-2-3 (1-3-3)
担当部課		保健部健康推課	学校教育課学校保健課 児童部保育課	保健部健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		食生活改善対策	食生活改善推進事業	離乳食講習会
事業概要		偏食防止・朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの	偏食防止、朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進する	離乳食の必要性、進め方、作り方などを指導し、試食の機会を提供するもの
数値目標等	朝食を欠食する習慣のある児童・生徒	現状値 (2001年度)		目標値 (2012年度)
		2007年度	2008年度	
現状値	1.6歳児	9.6%	5.7%	—
目標値	3歳児	10.4%	9.9%	
	小学3年生	—	4.7%	—
	中学2年生	—	20.1%	
		講話会等の開催回数		—
		各小学校1.5回(2007年度)		—
		各小学校2回(2008年度)		—
実績値	各小学校1.6回		—	
	区分	【継続 ■ 新規 □】		【継続 ■ 新規 □】
08年度実施状況等	実施内容及び課題等	<p>○公民館等で子どもを対象に「食育」を中心とした料理教室を開催した。 (食生活改善推進員による料理教室実施など) 143回(参加者3,803人)</p> <p>○市民向けに食育講演会の開催 1回(参加者258人)</p> <p>○「福山市食育推進計画概要版」を作成し、配布 ・保育所、幼稚園、小学校の保護者(4,000部配布) ・食育の日に街頭で配布(4,000部配布)</p>	<p>○各小学校において、栄養士による講話会等を実施し、朝食の必要性など食生活の啓発をした。</p> <p>○公立幼稚園7回、中学校14回、栄養士による「食育」に関する講話を実施し、朝食の必要性など食生活の啓発した。</p> <p>○保育所児童を対象に、保育課栄養士が作成した教材を使用し、食育指導を実施 22所へ対応</p> <p>○子育て支援活動のなかで「バランスの良い食事」「簡単にできるクッキング」などデモンストレーションをしながら未入所児童保護者を対象とした「食育」を実施 29ヶ所を実施</p> <p>【課題】 「食育」を推進するため、指導内容の集約が必要である</p>	<p>健やかな母子・親子関係の形成を促し育児に自信をもたせることを基本とし、健全な生活リズムを身につけ食べる楽しさを体験していくことができるよう、一人ひとりの子どもの「食べる力」を育むための支援を観点におき、そのうえで、離乳食の必要性・進め方・作り方を指導し、試食の機会を提供した。</p> <p>実施回数 44回 参加者数 延べ874人</p>
		<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2008年度と同様に実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>○各小学校において、栄養士による「朝食の必要性」を内容とする給食試食会等を100%実施する。</p> <p>○幼稚園、中学校においても、栄養士による「朝食の必要性」を内容とする講話会等を実施する。</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2008年度と同様に実施</p>
2009年度計画				
(予算額:千円)		650	0	1-2-4に含む
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-4 (1-3-4)	1-2-6	1-2-7																	
担当部課	保健部健康推進課	保健部健康推進課	保健部健康推進課	保健部保健予防課 他(※)																	
具体的な施策 (個別事業名)	乳幼児健康相談	乳児一般健康診査, 4か月児健康診査, 1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査	乳児一般健康診査, 4か月児健康診査, 1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査	予防接種																	
事業概要	乳幼児の問診, 身体測定, 発育・発達の確認, 育児相談, 歯科相談, 栄養相談を行うことで乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援するもの	医療機関等において乳児の疾病, 障がいの早期発見, 心身の健全な発育・発達などを促すとともに, 親の育児不安を解消するため, 乳幼児の健康診査を実施するもの	子どもの疾病予防のため, 予防接種の勧奨及び情報提供を行うもの																		
数値目標等	夜10時までに寝る児童			幼児健診の受診率			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2008年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6か月までにBCG予防接種済みの児童</td> <td>データなし</td> <td>96.9%</td> <td>90%以上(2012年度)</td> </tr> <tr> <td>1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童</td> <td>70%(2001年度)</td> <td>90.6%</td> <td>90%以上(2012年度)</td> </tr> </tbody> </table>				現状値	2008年度	目標値	6か月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	96.9%	90%以上(2012年度)	1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童	70%(2001年度)	90.6%	90%以上(2012年度)
		現状値	2008年度	目標値																	
6か月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	96.9%	90%以上(2012年度)																		
1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童	70%(2001年度)	90.6%	90%以上(2012年度)																		
現状値	1.6歳児 50.8%	2007年度 68.0%	目標値(2012年度) 80%以上	1.6歳児 89.0%	2007年度 90.8%	目標値(2012年度) 95%以上															
目標値	3歳児 49.3%	2007年度 61.1%	目標値(2012年度) 80%以上	3歳児 82.4%	2007年度 85.7%	目標値(2012年度) 90%以上															
08年度実施状況等	実績値	—			—																
	区分	【継続 ■ 新規 □】			【継続 ■ 新規 □】			【継続 ■ 新規 □】													
	実施内容及び課題等	<p>保健師・栄養士・歯科衛生士による健康相談をするなかで, 生活リズムの重要性についての指導をしている。</p> <p>2008年度            夜10時までに寝る児童の割合            1歳6か月児健康診査 80.2%            3歳児健康診査 76.7%</p>			<p>乳幼児の健康診査は, 個別健康診査(乳児一般健康診査・4か月児健康診査)と集団健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)で実施している</p> <p>2008年度 幼児健康診査実施回数            1歳6か月児健康診査 50回            3歳児健康診査 50回</p> <p>2008年度 幼児健康診査受診率            1歳6か月児健康診査 91.9%            3歳児健康診査 89.9%</p>			<p>○広報, 乳幼児健康相談, 幼児健康診査の機会などにおいて予防接種の勧奨を実施した。</p> <p>○家庭, 保育所(園), 幼稚園, 小中高校に予防接種の種類, 接種時期等の情報を提供した。</p> <p>○保育所(園), 幼稚園, 小中高校において児童・生徒に予防接種の勧奨を実施した。</p> <p>○今年度から, 麻疹風しんの3期4期接種が始まった。(4期については, 接種率向上に向けて接種勧奨はがきを送付した。3,340通)</p>													
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 2008年度と同様に実施			【継続 ■ 廃止 □】 1歳6か月児健康診査 60回 3歳児健康診査 60回			【継続 ■ 廃止 □】 あらゆる機会に, 予防接種の勧奨及び情報提供し接種率を向上することにより, 子どもの健やかな成長を育むとともに感染症のまん延を防ぐ。														
(予算額:千円)	6,379			19,711			308,487														
備考 (特記事項)							(※)その他の関係部署 健康推進課等保健事業実施課 学校保健課 (児)庶務課 保育課														

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-8 (3-4-2)	1-2-9	1-4-1																																			
担当部課	保健部保健予防課 他(※)		学校教育部指導課	保健部総務課																																			
具体的な施策 (個別事業名)	思春期の保健対策		学校の無煙化の推進	小児医療の充実																																			
事業概要	小中学生の喫煙・飲酒防止教育の実施、性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行うもの		学校において喫煙防止教育を実施するとともに、敷地内全面禁煙を推進するもの	在宅当番、小児二次救急輪番病院、福山市医師会による福山夜間小児診療所の休日夜間診療の充実																																			
数値目標等			学校の無煙化	—																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">2007年度</th> <th>目標値 (2012年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未成年者の喫煙率(中学2年)</td> <td>11.30%</td> <td>2.5%</td> <td>5.0%</td> <td rowspan="8">0%</td> </tr> <tr> <td>未成年者の喫煙率(高校2年)</td> <td>11.30%</td> <td>2.5%</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(中学2年)</td> <td>毎日 0%</td> <td>1.7%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>3日/週以上 10.0%</td> <td>12.1%</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(高校2年)</td> <td>1日/週程度 12.0%</td> <td>22.4%</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>毎日 0%</td> <td>1.1%</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3日/週以上 5.9%</td> <td>11.5%</td> <td>11.5%</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>1日/週程度 23.7%</td> <td>20.7%</td> <td>20.7%</td> </tr> </tbody> </table>						2007年度		目標値 (2012年度)	未成年者の喫煙率(中学2年)	11.30%	2.5%	5.0%	0%	未成年者の喫煙率(高校2年)	11.30%	2.5%	5.0%	(中学2年)	毎日 0%	1.7%	1.7%	3日/週以上 10.0%	12.1%	12.1%	(高校2年)	1日/週程度 12.0%	22.4%	22.4%	毎日 0%	1.1%	1.1%	3日/週以上 5.9%	11.5%	11.5%	11.5%	1日/週程度 23.7%	20.7%	20.7%
					2007年度		目標値 (2012年度)																																
	未成年者の喫煙率(中学2年)	11.30%			2.5%	5.0%	0%																																
未成年者の喫煙率(高校2年)	11.30%	2.5%	5.0%																																				
(中学2年)	毎日 0%	1.7%	1.7%																																				
	3日/週以上 10.0%	12.1%	12.1%																																				
(高校2年)	1日/週程度 12.0%	22.4%	22.4%																																				
	毎日 0%	1.1%	1.1%																																				
3日/週以上 5.9%	11.5%	11.5%	11.5%																																				
	1日/週程度 23.7%	20.7%	20.7%																																				
現状値	未成年者の飲酒割合(最近1か月の飲酒経験)		小中高校61校(2004年度)	—																																			
目標値			全校実施(2007年度から)	—																																			
08年度実施状況等	実績値	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(小6)</td> <td>43.0%</td> <td>44.2%</td> <td>38%以下</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(中2)</td> <td>51.6%</td> <td>61.3%</td> <td>46%以下</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(高2)</td> <td>62.8%</td> <td>73.8%</td> <td>49%以下</td> </tr> </tbody> </table>	ストレスを感じる人の割合(小6)	43.0%	44.2%	38%以下	ストレスを感じる人の割合(中2)	51.6%	61.3%	46%以下	ストレスを感じる人の割合(高2)	62.8%	73.8%	49%以下	小中高校115校/115校	—																							
	ストレスを感じる人の割合(小6)	43.0%	44.2%	38%以下																																			
	ストレスを感じる人の割合(中2)	51.6%	61.3%	46%以下																																			
ストレスを感じる人の割合(高2)	62.8%	73.8%	49%以下																																				
区分	【継続 ■ 新規 □】		【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																																			
実施内容及び課題等	<p>○小中学校での喫煙・飲酒防止教育(小学校9校・中学校11校、その内小学校5校・中学校5校は薬物防止教育を実施した。)</p> <p>○小中学校における「生と性」の講演会として、中学校3校で実施した。</p> <p>○依頼による性教育を小学校1校、高校2校で実施した。</p> <p>○乳幼児健康相談や幼児健康診査などで適正な体重の意義の啓発を実施した。</p> <p>○小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として、地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施した。          喫煙補導数 467件</p> <p>○未成年者の喫煙防止への協力について(社)フランチャイズチェーン協会へ申し入れを実施した。</p>		全校で敷地内全面禁煙を実施	<p>○休日昼間の一次診療を市内の9～10医療機関(小児科以外も含む)の当番医により実施</p> <p>○毎夜間及び休日昼間の二次診療を11医療機関(小児は4医療機関)の輪番により実施</p> <p>○福山市医師会が毎夜間、福山夜間小児診療所(医師会館)において小児科診療を実施</p>																																			
2009年度計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>○小中学校での喫煙・飲酒防止教育を実施する。</p> <p>○小中学校における「生と性」の講演会を実施する。</p> <p>○子どもを産み育てるために適正な体重の意義の啓発をする。</p> <p>○小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として、地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施する。</p>		<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>○全校で敷地内全面禁煙継続</p> <p>○地域、関係団体への啓発活動の継続</p> <p>○喫煙防止教育の充実</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2008年度と同様に実施(小児の二次診療は4医療機関の輪番制で実施)</p> <p>2009年度から、休日昼間の在宅当番医療機関において、冬期の小児患者の増加に対応するため小児科を現在の1医療機関から2医療機関体制とする。</p>																																			
(予算額:千円)	64		0	92,424																																			
備考 (特記事項)	(※)その他の関係部署 青少年課 (保)総務課 健康推進課等保健事業実施課 学校保健課 指導課																																						

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (保育所入所児童数)	保育サービスの充実 (延長保育1時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育2時間延長)
事業概要		保育を必要とする児童の全員入所、児童一人ひとりの人権を大切に育てる保育の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応できる保育サービスの充実を推進するもの	保護者の就労形態の多様化等に伴い保育所の開所時間を超えて保育を行うもの	保護者の就労形態の多様化等に伴い保育所の開所時間を超えて保育を行うもの
数値目標等		入所児童数	実施箇所数	実施箇所数
	現状値	11,873人 (2004年度)	114箇所 (2004年度)	4箇所 (2004年度)
	目標値	12,000人 (2009年度)	105箇所 (2009年度)	13箇所 (2009年度)
08 年度 実施 状況 等	実績値	12,167人	112箇所	4箇所
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○途中入所による弾力的な入所児童の受け入れ  ○入所定員の拡大	公立保育所(69箇所)及び私立保育所(43箇所)で実施	私立保育所(4箇所)で実施
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 12,135人 ○公立 5,565人 ○私立 6,570人	【継続 ■ 廃止 □】 111箇所 ○公立67箇所 ○私立44箇所(法人移管分1所有)	【継続 ■ 廃止 □】 5箇所 ○公立 1箇所 ○私立 5箇所
	(予算額:千円)	12,183,603	※247,545	※38,609
	備考 (特記事項)	児童数は、各年度3月1日現在	※予算額は私立分のみ	※予算額は私立分のみ

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (延長保育3時間以上延長)	保育サービスの充実 (休日保育)	保育サービスの充実 (夜間保育)
事業概要		保護者の就労形態の多様化等 に伴い保育所の開所時間を超え て保育を行うもの	保護者の就労形態の多様化に 対応するため、日曜・祝日の保 育を行うもの	夜間、保護者の就労等による 保育ニーズへの対応を図るもの
数値目標等		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数
	現状値	1箇所 (2004年度)	6箇所 (2004年度)	2箇所 (2004年度)
	目標値	4箇所 (2009年度)	5箇所 (2009年度)	2箇所 (2009年度)

08 年度 実施 状況 等	実績値	3箇所	6箇所	2箇所
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	私立保育所(3所)で実施 ○3時間延長 1所 ○4時間延長 1所 ○5時間延長 1所	公立(1箇所)、私立(5箇所)で実 施	私立保育所2箇所 で実施 (開所時間) 午前10時～翌日午前2時
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 3箇所 ○公立 1箇所 ○私立 3箇所	【継続 ■ 廃止 □】 6箇所 ○公立 1箇所 ○私立 5箇所	【継続 ■ 廃止 □】 2箇所 ○公立 1箇所 ○私立 2箇所
	(予算額:千円)	※44,318	※2,898	—
	備考 (特記事項)	※予算額は私立分のみ	※予算額は私立補助分のみ	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (病児・病後児保育)	保育サービスの充実 (一時保育)	保育サービスの充実 (保育所児童保育環境の改善)
事業概要		病気の状態(回復期を含む)にある児童で、集団保育等が困難な場合に医療機関に付設された専用スペースで一時的に預かるもの	保育所に入所していない就学前児童を、保護者の傷病・入院、災害・事故、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消を図るため、緊急・一時的に預かるもの	老朽化が進行する保育所の大型遊具の更新、空調設備の整備及び施設修繕を進めるなど、保育環境を改善し児童福祉の向上を図ることを目的とするもの
数値目標等		実施箇所数	実施箇所数	—
	現状値	2箇所(2004年度)	72箇所(2005年度)	—
	目標値	5箇所(2009年度)	75箇所(2009年度)	—

08 年度 実施 状況 等	実績値	4箇所	71箇所	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	医療機関 4箇所 ○橋高クリニック ○小池やすはら小児クリニック ○いぶき小児科 ○福山市民病院  2008年10月に福山市民病院(蔵王町)で開設。	保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。  ○実施施設数 71箇所 ・公立 56箇所 ・私立 15箇所	○保育所保育室空調設備整備 53室  ○保育所大型遊具更新整備 4所
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 4箇所 ○橋高クリニック ○小池やすはら小児クリニック ○いぶき小児科 ○福山市民病院	【継続 ■ 廃止 □】 72箇所 ○公立 56箇所 ○私立 16箇所	【継続 ■ 廃止 □】 ○保育所保育室空調設備整備 保育室の適温管理のため、空調設備を整備 ○保育所大型遊具更新 大型遊具について、安全性、経過年数及び老朽化度等を総合的に勘案し、計画的に更新
	(予算額:千円)	34,674	※29,700	50,000
	備考 (特記事項)		※予算額は私立分のみ  ※2009年度より第2種社会福祉事業となる。	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-2 (3-1-6)	2-1-3	2-1-5 (2-4-6)
担当部課		児童部保育課 学校教育部指導課	児童部庶務課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		保育所・幼稚園の連携, 就学 前教育・保育と小学校の連携	就学前施設の再整備	幼稚園での預かり保育
事業概要		保育所・幼稚園それぞれの特性 を活かした多様な保育・教育の提 供及び幼児期の教育と小学校以 降の教育との円滑な移行を図る ため, 保育所・幼稚園・小学校間の 連携を図るもの	今後の児童数の推移, 地域の 実態, 保護者のニーズ, 施設の 老朽化などに応じた保育所の再 整備を行うもの	私立幼稚園において日常の保 育終了後や長期休暇の期間にお いて預かり保育を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度実 施状 況等	実績値	—	3施設	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○各保育所・幼稚園と小学校にお いて, 個に応じた指導を継続する ため, 入学時等に必要な連携を 図っている。  ○運動会・発表会・入学前後に子 ども同士の活動の交流, 及びカリ キュラムの研究	○2007年度からの繰越事業 公立保育所 2所(有磨, 蔵 王)  ○2008年度事業 公立保育所 2所 (有磨, 蔵王) 私立保育所 1所 (宜山東) 土地購入	私立幼稚園 全23園で実施
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施 2009年度からは, 保育所保育指 針の改定により, 「保育所児童保 育要録」の記載も含めての連携と なる	【継続 ■ 廃止 □】 ○2008年度からの繰越事業 私立保育所 2所 (ももやま, 草戸)  ○2009年度事業 公立保育所 4所 (蔵王, (仮称)樹徳, 加茂・服部南設 計) 私立保育所 1所(宜山東)	【継続 ■ 廃止 □】 ○私立幼稚園で実施
(予算額:千円)		0	933,478	
備考 (特記事項)			※予算額は2008年度からの繰越 額及び2009年度予算	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-6	2-1-7 (2-4-5)	2-1-8
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		短期入所生活援助事業 (ショートステイ・トワイライト)	ファミリー・サポート・センター事業	家庭保育福祉員
事業概要		保護者の疾病や疲労、仕事などにより、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設や乳児院においてショートステイを、保護者の仕事などにより平日の夜間などに不在となり、家庭において児童を養育することが困難となった場合にトワイライトを実施するもの	保育所などへの児童の送迎及び預かりなど、子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支えるもの	一定の資格を持つ人で、自宅の一室を保育室として開放し、乳幼児の保育を行うもの
数値目標等		—	ファミリー・サポート・センター協力会員数	—
現状値		—	114人(2004年度)	—
目標値		—	190人(2009年度)	—
08年度実施状況等	実績値	—	175人	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○実施箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ショートステイ 2ヶ所 福山乳児院(0, 1歳) こぶしヶ丘 (2歳以上)</li> <li>・ トワイライト 2ヶ所 福山乳児院(0, 1歳) こぶしヶ丘 (2歳以上)</li> </ul> <p>○利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ショートステイ 1人 5日</li> <li>・ 乳児院 1人 5日</li> <li>・ トワイライト 1人29日</li> <li>・ こぶし 1人29日</li> </ul>	<p>○援助の希望にできるだけ応じ、相互援助活動がスムーズにいこう努めてきた。</p> <p>○活動延べ件数2,993件は、前年度比約12%(2,662件)増、主に学童の迎え、帰宅後の預かりの増加に因る。</p> <p>2009年3月末会員数            依頼会員 536人(521人)            協力会員 175人(164人)            両方会員 83人(78人)            ( )内は2008年3月末</p> <p>【課題】            依頼会員の増加に比べて、協力・両方会員の増加が少ない。</p>	<p>○福祉員数 1名</p> <p>○受諾児童数 平均4名</p>
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
	2008年度と同様に実施	<p>○地域バランスを勘案した協力会員の確保</p> <p>○協力会員の研修は、開催場所・日時や活動に即した内容を工夫し、参加者の拡大を図る。</p>	福祉員数 1名 受諾児童数 平均4名	
(予算額:千円)	183	7,318	882	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-2-1 (2-3-2)	2-2-2 (2-3-3)	2-2-3 (3-2-1)
担当部課		児童部子育て支援課	児童部保育課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ふくやま子育て応援センター	地域子育て支援センター事業	家庭児童相談室
事業概要		育児相談、保護者によるサークル活動の支援、子育て支援事業に関する情報提供等地域の子育てを総合的に支援するもの	保育所を拠点として子育て一般家庭への子育て支援事業を行うもの	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため家庭児童相談室を設置し、相談員が家庭における児童養育に関する相談に応じ、必要な助言指導を行うもの
数値目標等		—	—	子育てに関する不安や負担感
現状値		—	—	就学前児童60.8%、小学生児童56.1%(2003年度)
目標値		—	—	減少(2009年度)

08年度実施状況等	実績値	—	—	就学前児童58.2% 小学生児童60.2%
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	前年度比、相談件数は減少、しかし、情報提供数は約3倍増となっている。	子育て応援センター、地域の拠点保育所を中心として、それぞれの地域保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者や子どもを対象に遊びの場・相談の場を提供	公立拠点保育所において、電話相談・来訪相談を各週1回(月～土)を実施	○家庭児童相談員4名配置(ひとり親家庭自立支援員と兼務) ○相談件数 356件
	相談件数 1,360件(1,996件) 情報提供数 7,595件(2,544件) ( )内は、2008年3月末	まなびの館ローズコムへの移転に伴う利用者数の増・あんしん子育て応援ガイド配付・ホームページの充実が要因と考えられる。	実施箇所 19箇所 ○センター型 ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 3所 ○ひろば型 ・私立保育所 9所	
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
	○子育て支援事業に関するタイムリーな情報提供と利用促進	継続して実施 実施箇所 19箇所 ○センター型 ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 3所 ○ひろば型 ・私立保育所 9所	継続して実施	
(予算額:千円)	—	125,007	※11,355	
備考 (特記事項)				※母子相談事業[4-2-3]と合算

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-2-5	2-2-7 (3-2-2・3-6-1)	2-2-8
担当部課		人権推進部青少年課	社会教育部中部ブロック社会教育センター	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		ぐりとぐら広場 (福山市自然研修センター ふくやまふれ愛ランド)	地域における家庭教育支援基盤 形成事業(協議会委託事業)	幼稚園での子育て支援事業
事業概要		就学前児童と保護者を対象に、ふくやまふれ愛ランドで、コミュニティの場の提供や絵本の読み聞かせ、保育士による親子でのふれあい遊び、保健師による育児相談など子育て支援事業を行うもの	家庭の教育力向上を図るため、保護者を対象とした子育て、親育ちの講座を開催するもの	育児相談による子育て不安の解消を図るため、子育てサークルなどの支援をそれぞれ関係機関との関連を図りながら子育て支援事業に関する情報提供を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	遊具を使った自由遊びやリズム遊び・子育て相談等を実施する中で、様々な利用者ニーズに応じた子育て支援事業を実施した。  実施回数 160回 参加者数 2,919人	○就学前の子どもの保護者を対象とする子育て講座(116回) 就学前の子どもの保護者を対象に、子育てに関する講演会を保育所保護者会、幼稚園PTA参観日などの機会を活用して開催した。  ○思春期の子どもの保護者を対象とした子育て講座(14回) 子育てに関する講演会を小学校(高学年)、中学校のPTA参観日などの機会を活用して開催した。  ○父親の家庭教育参加を考える集い(6回) 父親の家庭教育への参加を促進するため父親と子どものふれあいを深める講座を開催した。	○育児相談による子育て不安の解消  ○すべての公立幼稚園(20園)において、各園未就園児の会を計画し、幼児同士のふれあいや子育て相談を実施  ○すべての私立幼稚園(23園)において、未就園児に対する園庭開放や、在園児童とのふれあいの機会を提供し、工作・折り紙などのものづくりを実施
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 □ 廃止 ■】	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
	(予算額:千円)	0	0	0
	備考 (特記事項)		国の委託事業(地域における家庭教育支援基盤形成事業)の終了	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-3-1	2-4-1
担当部課		児童部子育て支援課	経済部労政課
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援サービスの ネットワークづくり	女性雇用対策事業等
事業概要		子育て支援サービスのネットワ ークを構築し、様々な子育て支援事 業についてタイムリーな情報提供 を行うとともに、次世代育成支援対 策推進行動計画の実施状況の把握、 課題の抽出、今後のあり方等の 検討及びその他子育て支援関係 事業の調査研究を行うもの	国、県、関係団体と連携し、勤労者及び事業主に対し、男女雇 用機会均等や仕事と家庭の両立支援についての広報、啓発、研 修、情報提供等を行うもの
数値目標等		—	—
	現状値	—	—
	目標値	—	—

08 年度 実 施 状 況 等	実績値	—	—
	区 分	【 継続 ■ 新規 □ 】	【 継続 ■ 新規 □ 】
	実施内容 及び課題等	<p>○2005年度に設置した子育て支援 ネットワーク委員会(福山市行政及 び社会福祉協議会で構成)を4月と 3月に開催し次世代育成支援対策 推進行動計画の実施状況の把握、 課題の抽出、今後のあり方等を検 討した。</p> <p>○あんしん子育て応援ガイドを 33,000部作成し配布。</p> <p>○インターネットホームページによ る子育て支援の情報提供「子育て e-支援情報！」の充実及びキー ワードによる検索方法の効率化を 図った。</p>	<p>○広島労働局、広島県、(財)21世紀職業財団等との共済による各種 セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女雇用機会均等セミナー 参加者数 80人</li> <li>・両立支援対策セミナー 参加者数 72人</li> </ul> <p>○福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会と連携し、各 種セミナーの情報提供</p> <p>○(財)福山勤労福祉・文化振興会に委託して、女性雇用支援講座の 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座 10講座 参加者数 170人</li> <li>・パソコン講座 17講座 参加者数 293人</li> </ul> <p>○出前講座 43回 1,681人</p> <p>○両立支援講座 1回 206人</p> <p>○若年求職者を対象としたキャリアデザインセミナーの開催及び「ひろ しま若者しごと館福山サテライト」の県との共同実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザインセミナー 2回実施 参加者数 19人</li> <li>・ひろしま若者しごと館福山サテライト 来所者数 1,220人 相談件数 977件</li> </ul>
	2009年度計画	<p>【 継続 ■ 廃止 □ 】</p> <p>○あんしん子育て応援ガイドの発 行</p> <p>○インターネットホームページの子 育て支援情報(子育てe-支援情 報!)の充実</p> <p>○次世代育成支援対策推進行動 計画の実施状況の把握、課題の抽 出、今後のあり方等の検討</p> <p>○定期的な子育て支援ネットワ ーク会議の開催</p>	継続して実施
	(予算額:千円)	450	14,485
	備 考 (特記事項)		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-4-1	2-4-2	2-4-4 (2-1-4・3-5-1・4-3-2)
担当部課		経済部労政課	人権推進部男女共同参画センター	社会教育部社会教育振興課
具体的な施策 (個別事業名)		女性雇用対策事業等 (女性の再チャレンジ支援事業)	学習・啓発事業	放課後児童クラブ事業
事業概要		出産・育児などで離職し、再就職を希望する女性を支援するため、仕事と家庭の両立支援企業を集めた合同就職面接(託児サービス付)を開催するもの	「男女共同参画推進条例」及び「男女共同参画基本計画」の推進により、家庭生活とその他の活動が両立できるまちづくりに取り組むもの。 子育てと仕事の両立支援に関しては、男女共同参画センターで実施する講座において啓発する。	保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校の余裕教室やプレハブ教室などを利用して、適切な遊びや生活の場を提供するもの
数値目標等		—	—	放課後児童クラブ開設か所数
現状値		—	—	75か所(2004年度)
目標値		—	—	75か所(2009年度)
08年度実施状況等	実績値	—	—	75か所
	区分	【継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】
	実施内容及び課題等	<p>合同就職説明会・相談会</p> <p>○対象者 出産、育児等で離職し、再就職を希望する女性</p> <p>○参加者数 130人</p> <p>○参加企業数 20社</p> <p>○主催 広島県、広島労働局、ハローワーク、(独)雇用・能力開発機構広島センター、広島県地域労使就職支援機構、福山市</p> <p>○相談会参加者数 73人</p>	<p>○就職・再就職準備セミナー(6月 4回)</p> <p>○再就職、就業援助セミナー「夢をかなえる上手な時間とお金の活用法」(3月 2回)</p> <p>○子育て応援セミナー(8月～9月 7回)</p> <p>○子育てに関する講演会「今、すてきな子どもたちへ伝えたいこと ～親として、大人として、人生の先輩として～」(11月 1回)</p>	<p>○開設 75か所 ・公設公営 72か所 ・民設民営 3か所</p> <p>○開設時間 ・学期中 月～金 13:30～18:00 土 8:30～13:45 ・長期休業中 月～金 8:30～18:00 土 8:30～13:45</p> <p>○環境整備 ・大規模クラブの規模の適正化 11か所 (御幸、松永、駅家、川口、手城、曙、湯田、川口東、駅家東、新涯、瀬戸)</p>
2009年度計画	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 継続して実施	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】
(予算額:千円)		0	204	554,434
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-1	2-5-2	2-5-3
担当部課		保健部健康推進課	児童部子育て支援課	保健部保健予防課
具体的な施策 (個別事業名)		不妊治療扶助	乳幼児等医療費	小児慢性特定疾患医療費
事業概要		不妊治療に係る費用の一部を助成するもの	乳幼児等が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分の一部を助成するもの	小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分を助成するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度 実 施 状 況 等	実績値	—	—	—
	区 分	【 継続 ■ 新規 □ 】	【 継続 ■ 新規 □ 】	【 継続 ■ 新規 □ 】
	実施内容 及び課題等	指定医療機関で、体外受精または、顕微授精に要した費用に対して1回あたり10万円を限度として同一年度2回助成し、助成期間は通算5年  不妊治療助成決定者 371人	○助成内容 〔入院〕0歳児から小学校6年生まで 〔通院〕0歳児から就学前まで  ○一部負担金 1医療機関につき1日500円の一部負担金有り(入院は月14日まで、通院は月4日まで)  ○受給者数 28,000人	○対象疾患 悪性疾患、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液・免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患  ○対象者 18歳未満の児童(ただし、満18歳の時点で継続治療の必要な人は20歳未満まで)  ○助成 小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの。なお、医療機関に支払う患者の月額負担限度額は、生計中心者の所得税額等により決定される。  助成件数 4,804件
2009年度計画	【 継続 ■ 廃止 □ 】 不妊治療助成者：300件	【 継続 ■ 廃止 □ 】 継続して実施	【 継続 ■ 廃止 □ 】 4,800件	
(予算額:千円)	30,000	709,000	134,400	
備 考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-4	2-5-5	2-5-6
担当部課		保健部保健予防課	福祉部障がい福祉課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		未熟児養育医療費	自立支援医療(育成医療)費	ひとり親家庭等医療費
事業概要		出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費の自己負担分を助成するもの	身体上の障がいを持つ児童等に対し、障がいを軽減、改善するために要する保険医療費の自己負担分を助成するもの	ひとり親家庭等の親又は児童が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分の一部を助成するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費に係る自己負担分の一部を所得に応じて助成した。  助成件数 426件	身体上の障がいを持つ児童等に対し、障がいを軽減、改善するために要する保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの。 なお、医療機関に支払う患者の自己負担は原則として医療費の1割であるが、所得の状況等に応じて月額負担限度額が定められている。  助成件数 601件	○対象年齢 18歳到達後初めての3月末までの児童を現に扶養している配偶者のない人とその児童  ○所得制限 本人及び生計を同一にする扶養義務者が所得税非課税であること  ○一部負担金 1医療機関につき1日250円の一部負担金有り(入院・通院とも月4日まで) ※2008年8月から本来額の500円となった  ○受給者数 7,686人
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 360件	【継続 ■ 廃止 □】 550件	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
	(予算額:千円)	36,000	8,250	177,800
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-7	2-5-8	2-5-9
担当部課		福祉部障がい福祉課	保健部保健予防課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		重度心身障がい者医療費	幼児インフルエンザ予防接種費	児童手当
事業概要		<p>重度の障がいのある障がい児(者)が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分から一部負担金(1日200円、入院・通院とも月4日まで)を差し引いた額を助成するもの</p> <p>※ただし65歳以上(療育⑧を除く)で後期高齢者医療に加入していない者については、当該受給者が後期高齢者医療の被保険者であると見なして算定した保険診療の自己負担分を給付の対象とする。</p>	<p>幼児インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成するもの</p>	<p>小学校修了前までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給するもの</p>
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値		—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2009年度計画	実施内容及び課題等	<p>医療費助成の実施</p> <p>受給者数 10,429人</p> <p>○65歳未満 4,612人</p> <p>○65歳以上 5,817人</p>	<p>インフルエンザ予防接種実施医療機関で接種が終了した幼児(1歳から就学前までの幼児)の保護者に、予防接種に要した費用に対して同一年度、一人あたり3,000円を限度として補助した。</p> <p>補助件数 13,693件</p>	<p>○受給者数 31,476人 児童数 51,451人</p> <p>○支給額(月額)</p> <p>3歳未満 一律 10,000円</p> <p>3歳以上 第1・2子 5,000円</p> <p>〃 第3子以降 10,000円</p>
		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
(予算額:千円)	医療費助成の実施	10,570人	14,200件	継続して実施
		<p>受給者数 10,570人</p> <p>○65歳未満 4,550人</p> <p>○65歳以上 6,020人</p>		
備考 (特記事項)		1,290,811	42,600	3,930,540

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-10	2-5-11	2-5-12
担当部課		児童部子育て支援課	福祉部障がい福祉課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		児童扶養手当	特別児童扶養手当	障がい児福祉手当
事業概要		父母の離婚、父の死亡などにより、父のいない児童を養育している母又は養育者に対し手当を支給するもの	20歳未満の心身障がい児を監護する父母などに手当を支給するもの	20歳未満の精神又は身体に重度の障がいを有する児童に対し、手当を支給するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○受給者数 4,152人 ○支給額 全部支給 月41,720円 一部支給 月41,710円~9,850円	支給申請の受付、受給資格、手当額などの認定 ○受給者数 687人 ○支給額 1級 月 50,750円 2級 月 33,800円  ※支給は、厚生労働省  ○2008年4月1日より、広島県より認定等事務の事務委託された。	手当の支給 ○受給者数 262人 ○支給額 月14,380円
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 支給申請の受付、受給資格、手当額などの認定	【継続 ■ 廃止 □】 手当の支給 ○対象者数 260人 ○支給額 月14,380円
(予算額:千円)		1,977,831	0	44,866
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-13	2-5-14	2-5-15
担当部課		児童部子育て支援課	福祉部障がい福祉課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		福山市遺児年金	福山市重症心身障がい者 福祉年金	保育所保育料の多子軽減
事業概要		福山市に引き続き2年以上居住し、次のいずれかに該当する18歳未満の児童を養育する人に対し、年金を支給するもの ①父母のいない児童②父又は母のいない児童③その他これに準じる状態にある児童	身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を所持する者に対し年金を支給するもの (支給対象) 福山市に2年以上居住し、次のいずれかに該当する人 ①身体障がい者手帳1～3級②療育手帳A～B③精神障がい者保健福祉手帳1、2級④障がい年金1、2級の受給者等	同時に保育所等へ入所している家庭の2人目の児童の保育料を半額、3人目以降の児童の保育料を無料にし保護者負担の軽減を図るもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2009年度計画	実施内容及び課題等	○受給者数 4,483人 (2008年12月期支払) 父母のいない児童 21人 父又は母のいない児童 4,462人  ○支給額 父母のいない児童 年 41,000円 父又は母のいない児童 年 22,000円	福祉年金の支給 (障がい児) ○1人あたり年間 22,000円 ○受給者数 730人	対象児童数 2,132人  同一世帯から保育所、幼稚園のほかには障害児通園施設等に入所又は児童デイサービスを利用しての就学前児童も多子軽減の対象に含める。
		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
(予算額:千円)		継続して実施	福祉年金の支給 (障がい児) 対象者 710人	継続して実施
備考 (特記事項)		単市制度	単市制度 ※予算額は全体	「保育所保育料の3人目以降の無料化」→「保育所保育料の多子軽減」に2007年度から変更  ※国においても2009年度から3人目以降の無料化

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-16	2-5-17	2-5-18																									
担当部課		学校教育部学事課	学校教育部学事課	児童部子育て支援課																									
具体的な施策 (個別事業名)		就園奨励費(幼稚園)	就学援護費	母子寡婦福祉資金貸付金																									
事業概要		私立幼稚園に通園する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、入園料・保育料の一部を補助するもの	経済的理由で就学に必要な費用の支払いが困難な人への援助	母子家庭の児童などが修学するために必要な学費などについて貸付を行うことにより、母子家庭等の福祉の向上を図るもの																									
数値目標等		—	—	—																									
現状値		—	—	—																									
目標値		—	—	—																									
08年度実施状況等	実績値	—	—	—																									
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																									
	実施内容及び課題等	認定者 2,939人	認定者 5,736人	[貸付状況] <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td rowspan="2">母子</td> <td rowspan="3">新規</td> <td>修学資金</td> <td>55 件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>就学支度資金</td> <td>55 件</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>110 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">継続</td> <td rowspan="3">継続</td> <td>修学資金</td> <td>101 件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>101 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寡婦</td> <td rowspan="2">新規</td> <td>修学資金</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>修学資金</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>214 件</td> </tr> </table>	母子	新規	修学資金	55 件	技能習得資金	0 件	就学支度資金	55 件	小計	110 件	継続	継続	修学資金	101 件	技能習得資金	0 件	小計	101 件	寡婦	新規	修学資金	2 件	修学資金	1 件	計
母子	新規	修学資金	55 件																										
		技能習得資金	0 件																										
就学支度資金		55 件																											
小計	110 件																												
継続	継続	修学資金	101 件																										
		技能習得資金	0 件																										
		小計	101 件																										
寡婦	新規	修学資金	2 件																										
		修学資金	1 件																										
計	214 件																												
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 認定者見込み 2,849人	【継続 ■ 廃止 □】 認定者見込み 5,503人	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施																									
(予算額:千円)		263,645	332,231	※122,950																									
備考 (特記事項)				※内、貸付金122,000千円																									

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-1	3-1-1	3-1-1															
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課															
具体的な施策 (個別事業名)		確かな学力の向上	確かな学力の向上 (少人数指導推進支援事業)	確かな学力の向上 (学校評価推進事業)															
事業概要		子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし、選択能力を向上させる取組みを進めるもの	小学校35校、中学校15校に非常勤講師(少人数指導推進員)を配置し、国語、算数、数学、英語を基本に、基礎的な学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善に取り組むもの	外部評価を活用して学校の自己評価の精度を高め、保護者、地域への説明責任を果たすとともに、本市学校教育の質的向上を図るもの															
数値目標等		●「基礎・基本定着状況調査」 県平均値以上の教科数	●指定校では年間計画授業数の 80%以上で少人数指導を実施	—															
	現状値	小学校:0科目/2科目(2008年度) 中学校:0科目/3科目(2008年度)	—	—															
	目標値	●小学校:2科目/2科目(2011年度) ●中学校:1科目/3科目(2011年度)	100%	—															
実績値		小学校:0科目/2科目 中学校:0科目/3科目	100%(50校)	—															
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】															
08年度実施状況等	実施内容及び課題等	<p>本市平均値 県平均値</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校 国</td> <td>67.3%</td> <td>67.4%</td> </tr> <tr> <td>算</td> <td>75.6%</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>中学校 国</td> <td>75.4%</td> <td>76.2%</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>62.8%</td> <td>65.7%</td> </tr> <tr> <td>英</td> <td>68.7%</td> <td>71.1%</td> </tr> </table> <p>○授業改善シートにより具体的改善策の実施 ○一人一人に応じたきめ細かな指導、評価規準や評価方法の工夫・改善 ○校内研修、公開研究会の積極的な実施 ○福山市研修センター教職員研修講座の改善・充実</p>	小学校 国	67.3%	67.4%	算	75.6%	76.1%	中学校 国	75.4%	76.2%	数	62.8%	65.7%	英	68.7%	71.1%	<p>○小学校31校、中学校19校へ配置</p> <p>○推進校における取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容や学習場面に応じた効果的な指導方法の工夫</li> <li>・児童生徒の実態に応じた習熟度別少人数指導の充実</li> <li>・補充発展的な学習内容の充実</li> <li>・形成的評価による指導の改善、充実(指導と評価の一体化)</li> <li>・「思考力・表現力」を育てる指導法の研究</li> </ul>	<p>○学校評価自己評価の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価委員会による組織的な取組み</li> <li>・「目標の連鎖」「選択と集中」による実効ある取組み</li> </ul> <p>○外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価グループの編成</li> <li>・外部評価連絡協議会の実施</li> </ul>
	小学校 国	67.3%	67.4%																
算	75.6%	76.1%																	
中学校 国	75.4%	76.2%																	
数	62.8%	65.7%																	
英	68.7%	71.1%																	
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 中学校学力向上対策事業の実施	【継続 ■ 廃止 □】 小学校31校、中学校19校へ配置	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施															
(予算額:千円)		0	118,487	191															
備考 (特記事項)		●目標指標変更あり 「基礎基本定着状況調査の正答率全実施教科で80%以上」→「基礎・基本定着状況調査 県平均値以上」	●新たに目標値の設定																

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-1	3-1-2	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		確かな学力の向上 (キャリア教育推進事業)	英語教育の推進	豊かな心の育成
事業概要		児童生徒にしっかりとした勤 労観・職業観を身に付けさせる ための「チャレンジ・ウィーク ふくやま」(地域で進める5日間 の職場体験学習)を実施し、 キャリア教育の推進を図るもの	聞く、話すことに重点を置い た実践的コミュニケーション能 力の育成を図るとともに、国際 理解教育を推進するもの	豊かな体験活動をもとに、子 どもの道徳性や自己指導能力を 育成し、生涯にわたり、たくま しく生きていくための健康・体 力づくりを推進するもの
数値目標等		—	●中学校全クラスが、2週間 に1回はALTと授業をする	—
現状値		—	100% (2008年度)	—
目標値		—	100% (2009年度)	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	100%	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	チャレンジウィークふくやま 実施期間8月18日～22日 中学2年生 3,890人 ○受け入れ先の確保と円滑な実施に 向けての体制づくり ○学校及び受け入れ事業所に配 布する指導の手引の作成 ○推進委員会における各学校の 取組みの交流 ○リーフレットや広報ふくやま等を 通じての市民への啓発 ○支援会議における本年度の成 果と課題の整理 ○報告会の開催 【課題】 ○公的施設での受け入れ拡大 ○課題意識や目標を明確にしての	○英語指導助手(ALT)の増員 2007年度 14名 2008年度 17名 ○英語指導助手の小学校への派 遣増加 2007年度 3校 87回 2008年度 35校 633回 ○英語教育の指導力向上のため の研修を実施	○子どもの自律を育成する指導体 制の充実 ○「チャレンジウィークふくやま」の 実施、ボランティア活動や乳幼児と の交流体験などの社会体験活動、 自然体験活動の充実 ○食事の摂取割合の向上と楽しい 給食の時間の推進 ○子どもの心に響く道徳教育の実 践、人権感覚を育む道徳教育の充 実 ○道徳教育推進校を拠点とした学 校間交流の推進 ○健康・体力づくりのための推進 計画の作成・実施 ○体力テストの実施による子ども の体力の実態把握
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 ○実施予定日 8月17日～21日(5日間) ○実施形態 全市一斉実施 ○対象者 中学校2年生	【継続 ■ 廃止 □】 小学校での外国語活動の実施	【継続 ■ 廃止 □】 ○継続実施と規律ある学校づくり の推進 ○要となる道徳の時間の充実 ○積極的生徒指導と問題行動へ の対応
(予算額:千円)		457	100,333	510
備考 (特記事項)			●新たに目標値を設定	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)	3-1-5
担当部課		経済部農業振興課	経済部農業振興課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		豊かな心の育成 (園芸センター農業体験)	豊かな心の育成 (園芸センター親子農業体験教室)	不登校児童生徒への取組
事業概要		農業体験を通じて自然や農業に触れ合う場を提供し、児童生徒の豊かな情操を養い、健全な育成を図るもの	農業体験を通じて子どもたちの生きる力を養い、広く市民の農業への理解を深め、あわせて親子のコミュニケーションづくりに役立てるもの	児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、学校における教育相談体制の整備、いじめ・不登校対策の充実を図るもの
数値目標等		—	—	不登校児童生徒出現率
現状値		—	—	1.58% (2006年度)
目標値		—	—	1.17% (2010年度)
08年度実施状況等	実績値	—	—	1.44%
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	金江小学校3年生30人を受入れ、花壇の草花苗の定植を行った。(6月17日ジニア等500株)	○野菜部門 4月28日にタマネギの栽培等の講習及び収穫を21組69人が参加した。  ○花卉部門 8月12日にキクの栽培等の講習及び収穫を7組19人が参加した。	○研修センターの相談活動の充実 ○適応指導教室「かがやき」の運営 ○スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進 ○校内教育相談体制の充実 ○学習活動推進事業の推進 ○不登校対策実践指定校事業、不登校児童生徒支援モデル事業の実施 ○スクールカウンセラー活用事業の実施 ○スクールソーシャルワーカー活用事業の実施 ○全児童生徒の定期的な個人面接の実施 ○小中連携の充実
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 夏花壇の定植	【継続 ■ 廃止 □】 ○野菜部門 4月25日にタマネギの栽培等の講習及び収穫体験を実施する。  ○花卉部門 8月上旬にキクの栽培等の講習及び収穫体験を実施する。	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
	(予算額:千円)	0	0	16,049
	備考 (特記事項)	福山市園芸センター農業体験実施要領に基づき実施した。		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-7	3-1-9
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課 社会教育部文化課
具体的な施策 (個別事業名)		就学前施設の再整備	北京市教育交流推進事業
事業概要	今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズに応じた幼稚園の整備を行うもの		本市と北京市教育委員会との間で教育交流を行うことにより、生徒が国際的視野や感覚を身に付けるとともに、生徒を指導する立場にある教職員が互いの国のことを知り合うことで、国際交流を図るもの 福山市内の複数の美術館が協働して、中国と日本の現代絵画を展覧する特別展を開催し、本市と北京市相互の教育・文化の交流と理解を深め、両市の将来の友好発展に結び付けることを目的とするもの
数値目標等		—	—
	現状値	—	—
	目標値	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】
	実施内容及び課題等	○就学施設全体での幼稚園の役割、集団保育機能を基本とした効率的な幼稚園運営を推進 ○川口幼稚園 休園 ○樹徳幼稚園 廃園	○本市の中・高校生20名、教職員10名が北京市の2中学校を訪問し交流 ○「現代の中国画と日本画」展開催 入場者 3,844人 本展は、両国でのつながりの深い中国画と日本画という領域に注目し、大学における美術教育の現場の姿を反映させ、かつ現代の美術状況を反映させる展覧会として企画したもので、47作家77点の作品を、3つのセクションで構成した。 会期が20日間という短期間でありながら3,844人という入場者を得たことは、この交流への関心の高さを窺わせるものであった。 また、ふだんあまり目にすることのない中国と日本の次世代を担う若い作家たちが一堂に会した本展は、福山市から発信する日中文化交流として、ささやかやがら確実な第一歩を踏み出したと考える。
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	生徒・教職員の相互訪問による交流を継続して実施
(予算額:千円)		1,200	5,026
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-2-2 (2-2-7・3-6-1)	3-3-1 (3-5-2)	3-3-3
担当部課		社会教育部中部ブロック社会教育センター	人権推進部青少年課	社会教育部中央図書館 他(※)
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援交流事業の充実	自然研修センター事業 (ふくやまふれ愛ランド)	職場体験学習・インターン シップの受け入れ
事業概要		公民館において、親子のふれあいの場や保護者同士の交流を図ることで、子育ての悩み相談をするなど、地域で互いに子育てをしていくきっかけづくりをするもの	自然環境の中で宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じて、青少年の健全育成を図るもの	中高校生の勤労体験学習の実施
数値目標等		事業実施箇所数	—	—
現状値		全地区公民館で実施	—	—
目標値		全地区公民館で実施	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	全地区公民館(79館)で実施	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○福山市内の全公民館において、年間各館1回以上実施している。</p> <p>○核家族化が進み、子育ての悩みを抱える保護者に親子のふれあいの場を提供することで、親同士の交流と育児情報の交換、実技体験を通じての育児ストレスの解消をはかり、お互いのコミュニケーションを図ることが求められている。</p> <p>【課題】 講座に参加できていない保護者に対して参加の呼びかけ等の工夫が必要である。地域の子育てサポーターの充実</p>	<p>宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会を提供等による青少年の健全な育成の推進を図った。</p> <p>また、青少年の活動拠点として、積極的な受入れと活動を展開した。</p> <p>宿泊利用者 25,481人 一日利用者 29,703人 開所日数 332日</p>	<p>市公共施設で21校42人の職場体験学習・インターンシップを受け入れた。(「チャレンジウィークふくやま」による受け入れを除く)</p> <p>○図書館 13校 25人 ・中央図書館 3中学校 5人 4高校 7人 ・松永図書館 2高校 4人 ・北部図書館 1高校 4人 ・東部図書館 1中学校 1人 1高校 2人 ・新市図書館 1高校 2人</p> <p>○農業振興課 3中学校 5人 1高校 2人 ○光寿園 1中学校 7人 ○美術館 2中学校 2人 ○市民相談課 1中学校 1人</p>
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 全地区公民館(79館)で実施予定	【継続 ■ 廃止 □】 宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会を提供等による青少年の健全な育成の推進を図る。 青少年の活動拠点として、積極的な受入れと活動を展開する。 また、キャンプ場に食事棟を整備し雨天対応の課題解決を図るとともに、更なる利便の向上を図り、自然研修センター事業の充実に取り組む。	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
(予算額:千円)		632	105,868	0
備考 (特記事項)				(※) その他の関係部署 農業振興課 光寿園 美術館 市民相談課

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-3-4 (3-5-7)	3-3-5
担当部課	社会教育部中部ブロック社会教育センター		管理部スポーツ振興課
具体的な施策 (個別事業名)	子どもの居場所づくり事業 放課後子ども教室の推進		生涯スポーツの振興
事業概要	地域の協力を得て、子どもたちが放課後等に安全・安心して過ごせる居場所づくりを行うもの	各種大会の開催、地域への指導者の派遣、指導者の養成、気軽に行えるスポーツの普及、学校施設を開放しての地域交流の推進を図るもの	
数値目標等	放課後子ども教室実施箇所数	—	
	現状値	22箇所(2004年度)	—
	目標値	全学区で実施(2009年度)	—

08年度実施状況等	実績値	38箇所	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	38学区で実施  放課後等に小学校の図書室や空き教室等を利用し、地域住民の安全管理員の指導のもと、交流事業などを実施し、安全・安心な居場所づくりを実施するとともに、コーディネーターを配し、広報紙として「げんき情報局」を市内の保育所・幼稚園・小学校の全児童・生徒に向けて毎月発行した。	○スポーツ教室等の開催 ・Happyスポーツ塾 ・地域スポーツ教室 ・スポーツデリバリーサービス ・ふくやまスポーツクラブ ・競技力向上事業 ・競技人口拡大事業  ○各種大会行事の開催 ・陸上競技場で遊ぼうDAY ・ローズアリーナフェアー ・わくわくヨット教室 ・ふくやまマラソン ・竹ヶ端運動公園水泳場無料開放 ・ふくやま体育の日まつり ・元氣アップ親子セミナー ・冬季小学生わくわくスポーツクラブ
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 全学区実施を目標に取り組む	【継続 ■ 廃止 □】 ○スポーツ教室等の開催 ・Happyスポーツ塾・地域スポーツ教室・スポーツデリバリーサービス・ふくやまスポーツクラブ・ぬまくまニューススポーツ講座・競技力向上事業・競技人口拡大事業・冬季小学生わくわくスポーツクラブ  ○各種大会行事の開催 ・陸上競技場で遊ぼうDAY・ローズアリーナフェアー・わくわくヨット教室・ふくやまマラソン・竹ヶ端運動公園水泳場無料開放・ふくやま体育の日まつり・ふくやまフットサル大会・小学生ナイターカップサッカー・水泳交歓会・夏季スポーツ塾・ふくやまミニテニス交流大会・松永健康スポーツセンターフェアー・飛込講習会&フェスティバル・年末年始冬休み子ども体験講座・ラジオ体操講習会	
(予算額:千円)	6,772	13,000	
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-3-5	3-4-3 (3-5-5)	3-5-4
担当部課		管理部スポーツ振興課	児童部保育課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		生涯スポーツの振興 (沼隈体育館改修工事)	世代間交流事業	児童生徒の健全育成の啓発, 指導
事業概要		老朽化が進んでいる沼隈体育館を改修し, 地域住民の健康増進, スポーツの振興を図るもの	保育所において老人会などと連携して, 世代間交流を行い, 地域の子育て機能の充実を図るもの	学校教育ビジョンⅢに基づく豊かな心の育成をめざす取り組み, 性教育, 関係機関との連携等により, 子どもの健全育成の啓発, 指導を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値		—	—	—
	区分	【継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】
08年度実施状況等	実施内容及び課題等	沼隈体育館改修工事 ○内外装改修工事 ○外壁劣化改修工事 ○耐震補強工事 ○玄関増築工事 ○駐車場整備工事 ほか  ・2009年3月1日供用開始	高齢者とのふれあい(伝承遊び・伝統行事の伝承)のなかで, 核家族では体験しにくい祖父母の温もりを体験するため実施 職場体験学習の中学生を受け入れ, 保育所児童との交流を図る  実施箇所数 83箇所 ・公立保育所 69箇所 ・私立保育所 14箇所	○性の逸脱行為等に対する保健の教科をはじめ, 特別活動や道徳教育等での指導 ○問題行動等について関係機関との連携, 組織的な対応の推進 ○スクールカウンセラーと教師が一体となった家庭への支援 ○警察の少年サポートセンターとの積極的な連携 ○定期的, 集中的な学校訪問による実態把握と現状分析, 効果的な指導の実施 ○全児童生徒に対する学期1回の個人面接の実施
2009年度計画		【継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】
			継続して実施  実施箇所 81箇所 ・公立保育所 67箇所 ・私立保育所 14箇所	継続して実施  学校教育ビジョンⅢ及び道徳教育・生徒指導リーフレットに基づく取り組みの実施
(予算額:千円)		0	14,315	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-8	3-5-9	3-6-3
担当部課		社会教育部中央図書館	環境部環境啓発課	児童部保育課 児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		読書活動推進に向けた整備	こどもエコクラブ事業	地域住民, 民間団体の 子育て力の育成と協働
事業概要		図書館の蔵書の充実及び読書に親しむ環境づくりを推進するもの	子どもたちが地域において主体的に継続的な環境活動・学習を行う機会を提供し, 支援するもの	地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成等を通じた地域住民の子育て力の育成, 民間団体と市や関係機関等が実施する子育て支援事業の情報交換の推進を図るもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2009年度計画	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本と出会うふれあい事業 市内の乳幼児健診会場など35回実施した。</li> <li>○あかちゃんといっしょのおはなし会 全図書館で毎月2回実施した。</li> <li>○おはなし会, 工作教室, ビデオ上映会などを全図書館で実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ数 9クラブ 会員数 275人</li> <li>【実施内容】</li> <li>○磯の生き物調査</li> <li>○星空観察会 等</li> <li>【課題】</li> <li>○会員数の拡大</li> <li>○各クラブ間の交流の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てボランティア養成にあたっては保護者の置かれている社会状況・親の意識の変化, 保育所の役割・支援の状況を支援活動を見学してもらいながら情報提供した。(1講座)</li> <li>○子育て応援センターにおけるファミリー・サポート・センター事業や各種子育てサークルの充実, 子育てボランティアの養成等を通じて, 地域住民の子育て力の育成を行った。</li> </ul>
	区分	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
2009年度計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>全図書館で, 絵本と出会うふれあい事業, あかちゃんといっしょのおはなし会, 工作教室, ビデオ上映会などを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9クラブ, 300人程度</li> <li>○研修会・自然観察会開催予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きボランティア養成を推進する。</li> <li>NPO・ボランティアとの連携を図り, 協働による子育て事業を推進する。</li> </ul>
(予算額:千円)		0	205	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-6-4	4-1-1
担当部課	福祉部福祉総務課	児童部子育て支援課	
具体的な施策 (個別事業名)	地域全体で子育てを見守り、 支え合う活動の推進	児童虐待防止等ネットワーク活動の推進	
事業概要	民生委員児童委員との連携により、地域全体で子育てを見守り、支え合うネットワークづくりを推進するもの	行政と関係機関・団体との間で構築したネットワークにより、情報の共有、連携を図る中で、児童虐待の未然防止、早期発見、効果的対応を行うもの	
数値目標等	—	虐待していると思ったこと	
現状値	—	就学前児童12.7% 小学校児童9.3%(2003年度)	
目標値	—	減少(2009年度)	
08年度実施状況等	実績値	—	就学前児童30.4% 小学生児童30.7%
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<p>○民生委員児童委員が子育てに関する情報提供や、子どもに関する相談を受けたり、支援を行った。</p> <p>○民生委員児童委員が子育てサークルや子ども会等の児童健全育成に関する活動に支援や参画を行った。</p> <p>○児童虐待に関して、市やこども家庭センターへ相談や通告を行った。</p>	<p>従来の児童虐待防止ネットワーク(2005年4月1日設置)を児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会(福山市児童虐待防止等ネットワーク)に移行(2008年8月18日)し、機能強化を図った。市行政12部、関係機関・団体24で構成。</p> <p>○代表者会議(8月6日)</p> <p>○実務者会議(7月11日)</p> <p>○実務者研修会の開催(2月10日)</p> <p>○ケース会議(47回)</p> <p>○虐待通告 112件</p> <p>児童虐待防止推進月間(11月)事業</p> <p>○広報ふくやまによる啓発</p> <p>○市民向けリーフレットの作成・配布</p> <p>○児童虐待防止啓発講演会の開催(11月4日)</p> <p>○児童虐待防止啓発用懸垂幕の作成・懸垂(11月中懸垂)</p> <p>○ふくやまこどもフェスティバル等における啓発展示</p>	
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】	<p>○引き続き児童虐待防止のための市民啓発に取り組むほか、ネットワーク関係者の研修を行う。</p> <p>○育児、栄養等の相談、子育て支援情報の提供により、虐待の未然防止に取り組む。</p>
(予算額:千円)	83,214	595	
備考 (特記事項)		<p>【今回の次世代育成支援に関するコース調査で、子どもを「虐待していると思ったこと」のある保護者の割合が増加したことについて】</p> <p>前回調査は、市町村に児童虐待相談を含む児童家庭相談の窓口が位置づけられる前に実施されており、前回調査時に比べ、児童虐待相談件数が増加しているという事実はあるものの、前回調査時以降、児童虐待防止の啓発に取り組んだ結果として、保護者に児童虐待への関心が高まり、日常の子育てにおいても、子どもへ虐待を意識するものとなったためと考えられる。</p> <p>また、児童の生命、身体への直接的な虐待となる「たたく」の割合は、今回調査において、「就学前児童」、「小学生児童」ともに減少している。</p>	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-1-1	4-1-3 (2-2-4)	4-2-1
担当部課		児童部子育て支援課	保健所健康推進課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		児童虐待防止啓発事業 (オレンジリボンキャンペーン)	育児支援家庭訪問事業	ひとり親家庭自立支援事業
事業概要		悲惨な児童虐待事件を契機に虐待の現状を広く知らせ、虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるようにとの願いが込められた「オレンジリボン」を「児童虐待防止」の象徴として広めるキャンペーンを推進するもの	育児支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師・助産師・保育士等がその居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育ができるようにするもの	ひとり親家庭の親が就労に有効な資格を取得するための経費の一部の助成、特定の資格を取得する期間に係る給付金を支給し、ひとり親家庭の自立を支援するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	オレンジリボンキャンペーンの実施  啓発チラシ、ティッシュ、花の種、オレンジリボンを配布したほか、イベントにおいて啓発パネル展示、オレンジリボン作製講習会を実施した。  ○街頭啓発(10月31日) ○健康ふくやま21フェスティバル2008(10月18日、19日) ○ふくやまこどもフェスティバル(11月3日) ○人・まち・ふくしフェスタ2008@うつみ・ぬまくま(11月9日) ○オレンジリボンを保育所、幼稚園、小学校及び市行政協力課の職員を対象に配付	2008年度育児支援家庭訪問実績 初回訪問 939件 継続訪問 28件 計 967件  訪問後、市保健師との連携 140件	○自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成するもの 支給数 10件 ○高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために2年以上修業する間の一定の期間について給付金を支給するもの 支給数 18件 ○常用雇用転換奨励金事業 ひとり親家庭の親を短期雇用から常用雇用に転換するために必要な訓練を開始し、6ヶ月以内に常用雇用に転換した事業主に奨励金を支給するもの 2007年度をもって制度廃止。ただし、2007年度までに「常用雇用への転換に向けた職業訓練(OJT等)実施計画書」を受付したものについては経過措置があった 支給数 0件
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 2009年度育児支援家庭訪問予定 1,000件	【継続 ■ 廃止 □】 ○自立支援教育訓練給付金事業 継続して実施 ○高等技能訓練促進費事業 継続して実施 ○入学支援修了一時金 2008年4月1日以降養成機関において受講開始した者から適用 ○常用雇用転換奨励金事業は完全廃止	
(予算額:千円)		69	1-1-5に含む	13,460
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-2-1	4-2-1
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ひとり親家庭等自立支援事業 (ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業)	ひとり親家庭等自立支援事業 (母子自立支援プログラム策定事業)
事業概要		ひとり親家庭の母等に対し、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業に結びつきやすい就業支援講習、公共職業安定所と連携した就業情報の提供など一貫した就業支援サービスを提供するとともに養育費の取り決めなどの専門家による相談等を実施し、ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図るもの	児童扶養手当受給者の状況・ニーズに応じ、自立支援プログラムを策定し、きめ細かな自立・就労支援を実施するもの
数値目標等		—	—
	現状値	—	—
	目標値	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○就業支援事業 2006年12月に無料職業紹介所の許可を受け、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業情報の提供等 相談件数104件 求職件数104件 求人件数116件 紹介件数111件</p> <p>○就業支援セミナー・講習会 就業経験の無い者、離職期間が長い者、転職を希望する者等を対象とした就業支援セミナー等の開催 ①セミナー4回 延べ31人 ②講習会12回 延べ138人</p> <p>○特別相談事業 養育費の取り決めや生活上の諸問題の解決のため、弁護士による専門相談の実施 1回4人</p> <p>○事業委託先 財団法人福山市母子寡婦福祉連合会</p>	<p>就業・自立支援センター内において母子自立支援プログラム策定員が、児童扶養手当受給者を対象に自立支援プログラムを策定した。</p> <p>○策定数 57件</p> <p>○事業委託先 (財)福山市母子寡婦福祉連合会</p>
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		継続して実施	継続して実施
(予算額:千円)		2,437	1,661
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-2-2	4-2-3	4-2-4
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		母子保護の実施	母子相談事業	ひとり親家庭への経済的支援
事業概要		配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を母子生活支援施設に入所させ保護を行うとともに自立を支援するもの	家庭児童相談室における相談を充実し、母子家庭の自立支援を推進するもの	ひとり親家庭への経済的支援を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—

08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—																	
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																	
実施内容 及び課題等	<p>○母子生活支援施設入所状況 (2009年3月末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入所世帯</th> <th>入所人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久松寮</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>松永寮</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>12</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>※市外委託</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <p>○久松寮及び松永寮の入所者数は増加傾向にある。</p> <p>○近年、DV被害を被った母子世帯の市外施設への措置委託が増加している。(※)</p>		入所世帯	入所人数	久松寮	5	15	松永寮	7	20	小計	12	35	※市外委託	5	11	合計	17	46	<p>○ひとり親家庭自立支援員4名配置(家庭児童相談員と兼務)</p> <p>○母子世帯の自立支援に向けた相談・助言を行った。</p> <p>○相談件数 3,536件 (母子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む)</p>	<p>○児童扶養手当 コード No.2-5-10参照</p> <p>○ひとり親家庭等医療費助成 コード No.2-5-6参照</p> <p>○福山市遺児年金 コード No.2-5-13参照</p> <p>○母子及び寡婦福祉資金貸付金 コード No.2-5-18参照</p>
		入所世帯	入所人数																		
久松寮	5	15																			
松永寮	7	20																			
小計	12	35																			
※市外委託	5	11																			
合計	17	46																			
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】	就業・自立支援センター等関係機関と連携し、自立支援を推進する。	【継続 ■ 廃止 □】	継続して実施															
(予算額:千円)		※71,570	2-2-3に含む																		
備考 (特記事項)		※市外施設への措置委託料を含む。 (広域措置委託料24,722千円)																			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-1	4-3-1	4-3-3
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		障害児の教育	障害児の教育 (特別支援教育体制推進事業)	障がい児保育
事業概要		障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、必要かつ適正な個に応じた教育を推進するもの	通常学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒への指導支援を、学校体制として組織的に進めるもの	家庭において保育に欠ける障がい児を受け入れ、保育の保障を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値		—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
08年度実施状況等	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態や就学前施設での状況、こども家庭センター、医療機関等と連携した総合的な判断による就学指導</li> <li>○特別支援学級、通級指導教室での個に応じた指導の実施</li> <li>○介助員、障害児指導員の配置</li> <li>○発達障害のある児童生徒への理解と対応について教職員の資質向上のための研修の実施</li> <li>○「特別支援教育」に向けて、校内体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内委員会の設置</li> <li>○特別支援教育コーディネーターの指名</li> <li>○学校支援員の配置(4月)</li> <li>○特別支援教育コーディネーター研修の実施(年3回)</li> <li>○学校支援員の研修の実施</li> <li>○福山市巡回相談事業の実施</li> <li>○大学生による特別支援教育サポーター事業の実施</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成</li> <li>○校内体制での特別支援教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団保育可能な希望児童について実施(2008年度手帳取得児童36人)</li> <li>○その他課題のある児童約1,252人(入所)</li> </ul>
2009年度計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級、通級指導教室の設置</li> <li>○教育内容の充実</li> <li>○介助員、障害児指導員の配置</li> <li>○学校体制による特別支援教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の機能化による特別支援教育の推進</li> <li>○巡回相談を活用した特別支援教育に係る校内研修の充実</li> <li>○小中学校35校に学校支援員の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団保育可能な希望児童について実施</li> </ul>
(予算額:千円)		236,586	67,978	42,468
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-4	4-3-5	4-3-6
担当部課		児童部保育課 (教) 学校教育部指導課	保健所健康推進課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		ことばの相談室	療育相談・療育支援システム	障がい福祉サービス等の充実
事業概要		言語の発達に課題がある児童を専門的に指導援助し、その軽減、克服を図るもの	疾病や障がいを早期に発見し、適切な支援が行える体制の整備を行うもの	障がいのある児童への早期療育や居宅サービスの支援を行うことで、児童の発達を支援するとともに保護者の負担を軽減するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	発音等について保育所、幼稚園で専門的な指導・支援を実施  ○実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園 ○利用人数 保育所 637人(延回数 3,069) 幼稚園 322人(延回数 3,809)  【課題】 ○件数の増加や保護者の就労により、相談日の偏りがみられ回数の確保が困難になりつつある ○ことばのみの課題は少なく、発達全般の課題・保護者支援の比重が高くなっている	保健事業実施課(健康推進課・松永保健福祉課・北部保健福祉課・東部保健福祉課・神辺保健福祉課・沼隈支所保健福祉担当)において、毎月実施している。 スタッフは心理相談員・保育士・保健師である。  実施回数 144回  【課題】 療育相談に参加する必要があるにもかかわらず参加しない児・保護者に対して、訪問等で勧奨しているが、全員参加に至っていない。	障がい児に障害者自立支援法による次のサービスを提供  ○居宅介護 35人 ○児童デイサービス 196人 ○短期入所 32人 ○移動支援 55人 ○日中一時支援 139人 (2009年3月利用分の実人数)
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施 実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園	【継続 ■ 廃止 □】 2008年度と同様に実施	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き、サービスの提供を継続
	(予算額:千円)	49,000	1-2-4に含む	3,230,840
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-6	4-3-7
担当部課		福祉部障がい福祉課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		障がい福祉サービス等の充実 (障がい児通園施設利用者負担軽減事業)	重症心身障がい児(者)通園事業
事業概要		障がいのある児童への早期療育を進めるため保護者の負担を軽減する 障害者自立支援法の施行に伴い児童福祉法が改正され障がい児通園施設を利用する保護者の負担が増した。このため、市独自に障がい児通園施設を利用する一定所得に満たない保護者が看護する児童の食事負担を軽減するもの	在宅重症心身障がい児(者)に対し、通園により、家庭、地域で主体的に暮らしていくための支援を行い、豊かな生活の実現をめざす。福祉と医療の専門スタッフが、家庭や地域における日常生活支援、健康増進支援、さらには地域の関係機関との連携を深める支援を行うもの
数値目標等		—	—
現状値		—	—
目標値		—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	○食費補助 障がい児通園施設利用者の食事負担の軽減に要する費用として、法人へ補助金を交付する。国制度による食費加算を受けられない者のうち、低所得者は1食160円、その他は1食420円を算定 5施設 50人  ○併行通園等軽減 (併行通園軽減)障がい児通園施設・児童デイと保育所・幼稚園を併せて利用する場合に、障がい児通園施設・児童デイの利用者負担相当額を助成する。 (多子軽減)障がい児通園施設・児童デイを利用している児童の兄弟等が保育所・幼稚園を利用している場合に、障がい児通園施設・児童デイの利用者負担を軽減する。 7施設 61人	在宅の心身障がい児(者)に通園により療育支援を行う。広島県立福山若草園(重症心身障がい児(者)通園施設)で実施  登録者数 15人
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施  食費補助 5施設 37人 併行通園等軽減 7施設 53人 ※2009年度は、併行通園等軽減の「月5日以上利用した場合に助成」という条件を撤廃予定。 ※国による食費補助枠の拡大、特別対策による利用者負担の軽減により、本事業の事業費は減少見込	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施  昨年度と同様 ○開設日 294日 ○登録 15人	
(予算額:千円)		3,505	16,384
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-8	4-3-9	4-3-10
担当部課		福祉部福山すこやかセンター	福祉部障がい福祉課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		水中活動モデル講座	障がい者等相談支援事業 (障害者総合相談室・子ども発 達相談室)	福山市障がい児等療育支援事業
事業概要		福山すこやかセンター水浴訓 練室において、医師会と連携 し、障がい児(者)を対象とした 水中活動の指導者の育成を図 り、障がい状況別指導メニュ ーの確立を行うもの	福山すこやかセンターにおい て、子供の発達相談を受けるも の(原則予約)	在宅の重症心身障がい児 (者)、知的障がい児(者)、 身体障がい児(者)のライフス テージに応じた地域での生活を 支援するため、障がい児(者) 施設等の有する機能を活用した 療育訓練等を実施し在宅障がい 児(者)及びその家庭の福祉の 向上をがかることを目的とす る。
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値		—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
08 年度実 施状 況等	実施内容 及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープン参加型講座(5回) 講義、実技指導、ヘルパー研修</li> <li>○オープン型参加型講座修了者の ためのフォローアップ研修(1回)</li> <li>○育成された指導者による実技指 導(12団体 36回)</li> <li>○ボランティア養成講座(1回)</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループリーダーの育成</li> <li>○ハロウィック水泳法講習会修了 者の活動支援</li> </ul>	実施内容 2名の相談支援員による専門相 談  相談件数 665件	実施内容 市内3法人に委託し、訪問療育 (個別・集団)外来療育(個別・集 団)施設支援一般指導を行う  相談件数 8,056件
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープン参加型講座(5回)</li> <li>○育成された指導者による実技 指導</li> <li>○講座修了者のフォローアップ 研修</li> <li>○実技指導マニュアル作成</li> <li>○ボランティア養成講座実施</li> </ul>	継続して実施	継続して実施
(予算額:千円)		1,989	0	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-1-1	5-1-1	5-1-1
担当部課		人権推進部人権推進課	都市部公園緑地課	都市部公園緑地課
具体的な施策 (個別事業名)		ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの推進
事業概要		年齢、性別、国籍、障害の有無等に関らず、すべての人が快適な暮らしができる社会をめざし、総合的かつ効果的にユニバーサルデザインを推進するもの	公園出入口車止め改修	街路樹安全対策事業
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	各課より取組についての状況を調査し集約結果をイントラ掲示板で研修資料として掲載。 ユニバーサルデザインの視点に立ち、職員の理解や接遇等心のユニバーサルデザインの充実が図られてきた。また施設面においてもユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備がなされ、市民の利便性の向上・安全確保に資している。  【課題】 まだ市民に理解されていない面もあり、引き続き啓発活動による市民意識の高揚を図っていく必要がある。	公園出入口車止め改修 2箇所  【課題】 入口が拡がり、バイク等の不法侵入もありえる。	街路樹等により、歩行者等の通行に支障をきたしている箇所について、支障の状況に応じ、維持補修を計画的に推進し、歩行者等の安全を確保した。 7区域
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 イベント等でのパネル展示や各種研修会での啓発や資料を活用しての学習など、さまざまな機会を通し周知に努める。	【継続 ■ 廃止 □】 公園出入口車止め改修 2箇所	【継続 ■ 廃止 □】 街路樹安全対策事業 9区域
(予算額:千円)		0	434	4,000
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-1-2	5-2-1	5-2-1
担当部課		市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		生活安全モデル地域の指定	子どもの安全確保 (生活安全パトロール車による 子ども見守り事業)	子どもの安全確保 (地域青色防犯パトロール実施 団体支援事業)
事業概要		生活安全モデル地域を指定し、住民参加のもと、犯罪のない安心して子育てができる安全なまちづくりを地域ぐるみで推進するもの	公用車両に青色回転灯及び放送設備を装備し、公務連絡経路等において、防犯・交通安全等の街頭啓発を実施するほか、不審者情報に対する対応など、子どもの見守り活動を行うもの	子どもの見守りなど地域における自主防犯パトロールの充実にむけ、地域青色防犯パトロール実施団体に対し、パトロール車両に装備する青色回転灯、放送設備等を貸与するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値		—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
08年度実施状況等	実施内容及び課題等	モデル地域に指定され、住民参加のもと、安心して安全に暮らせる地域づくりを推進する地域に、年額10万円×2年間を助成  ○継続3地域(久松台学区、東村学区、新市学区)2年目  ○新規3地域(旭学区、山南学区、中条学区)1年目  【課題等】 モデル地域指定期間に限定しないで継続した活動が展開されることと、モデル地域の成果を他の地域に拡げる取り組みが必要	公務連絡車両等16台を白黒に塗装し、青色回転灯及び放送設備等を装備した生活安全パトロール車による、子どもの見守り、交通安全啓発及び防犯啓発活動を実施した。 また、公務連絡中の活動に加え、下校時における通学路や危険箇所のパトロール、「不審者情報」に基づく重点巡回パトロールを実施した。	申請があった8学区に青色回転灯等を貸与し、子どもの見守りなど地域青色防犯パトロール活動が実施されている。  実施学区(8学区12台) (幕山、長浜、久松台、坪生、東村、明王台、山南、網引)
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 ○継続3地域(旭学区、山南学区、中条学区)2年目  ○新規3地域	【継続 ■ 廃止 □】 生活安全パトロール車(16台)による子ども見守り活動等を実施	【継続 ■ 廃止 □】 地域青色防犯パトロールを予定する実施団体を支援し、青色回転灯などを貸与する。
(予算額:千円)		600	0	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		市民部協働のまちづくり課	児童部保育課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保	子どもの安全確保	子どもの安全確保 (児童安全啓発事業)
事業概要		初年度購入の情報提供用ファックスを、必要に応じて各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与している 地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報や災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援するもの	保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの	子どもを犯罪などの危険から守るために保護者や地域住民が、子どもの安全についてより理解を深め見守っていくとともに、子ども自身が危険から回避できる力を身につけていく啓発を行う。
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	情報提供用ファックスを持っていない各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与し、地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報・災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援した。 【課題】 全学(地)区自治会(町内会)連合会長宅に設置していないため、引き続き設置するように取り組む必要がある。	○「福山市保育カリキュラム」を基底に、日常保育で職員の意識向上と実働ができるよう取り組んだ ○「こども安心安全ガイド」を活用し、児童・保護者の安全意識の向上をはかった ・活用回数 1回 10所 2回 22所 3回 28所 4回 9所 ・活用内容 懇談、読み聞かせ 実地指導、講演など	○2006年度において作成した「子ども安心安全啓発ガイドブックえがおでたていま!」(A4版16頁)を配布 ○主な配布先 ・保育所(園)児童及び職員 ・小学校児童及び職員 ・民生委員主任児童委員 ・公民館、コミュニティセンター ○配布対象者への配布のほか、各種の研修等で活用 ○市ホームページの「子育てe-支援情報」に啓発ガイドブック全文を掲載し、市民に情報提供
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 前年度に引き続き不審者情報や災害情報の提供を実施する。	【継続 ■ 廃止 □】 カリキュラムやガイドを活用するなかで、継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 ○引き続き、活用の機会を捉えて配布し啓発していく。 ○小学校新1年生全員に配布
(予算額:千円)		250	0	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		児童部庶務課 他(※)	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保 (保育所, 幼稚園, 放課後児童クラブへの緊急通報システム整備)	子どもの安全確保	子どもの安全確保 (児童生徒安全確保対策)
事業概要		保育所, 幼稚園, 放課後児童クラブにおける不審者の侵入や事故などの有事に備えて, 園児, 児童の安全を確保するため, 保育所に緊急通報システム(注)を整備し, 安全対策の態勢強化を図るもの  (注)緊急時に県警本部総合指令室に自動通報し, 発信元を直接確認でき, 相互に通話が可能	保育所, 幼稚園, 学校, 家庭, 地域が一体となった危機管理体制を確立し, 子どもの安全確保に努めるもの	不審者情報を受信希望者(保護者, 教育関係団体及び地域の各種団体)に, 携帯電話等のメール機能を利用したメール配信により, 情報提供し, 園児・児童生徒の安全確保を図るもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値		—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
08年度実施状況等	実施内容及び課題等	整備済施設 ○保育所 市立69施設 私立46施設 ○幼稚園 市立20施設 私立21施設 ○放課後児童クラブ 72施設	○危機管理マニュアルによる安全性の確保 ○安全確保のための保育所, 幼稚園, 学校, 家庭, 地域の連携の強化 ○小学校の緊急通報システムを活用した緊急時対応訓練を実施 ○新入学児童へ防犯ブザーを配布 ○スクールサポートボランティア事業を実施 ○児童生徒による地域安全マップ作成の取組みを推進	教育委員会で把握した不審者情報をメールで配信
2009年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 市立の保育所・幼稚園及び放課後児童クラブの緊急通報システム維持管理 ・保育所 市立67施設 私立50施設 ・幼稚園 市立20施設 私立21施設 ・放課後児童クラブ 72施設	継続して実施	継続して実施
(予算額:千円)		0	0	3,780
備考 (特記事項)		※その他の関係部署 (教)学校教育部指導課 (教)社会教育部社会教育振興課		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		学校教育部指導課	人権推進部青少年課	人権推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保 (通学時安全確保対策)	子どもの安全確保	子どもの安全確保 (通学路沿い公共施設 安全対策事業)
事業概要		小学校新生児に防犯ブザー・ ランドセル用防犯ブザー・ ストラップ及びランドセルシールを 配布するもの 防犯ブザー配布時に、取り扱 いについて指導し、児童が危険 から自分を守ることのできる危 険回避能力の育成を図る	保育所・幼稚園・学校・家 庭・地域が一体となった危機管 理体制を確立し、子どもの安全 確保に努めるもの	通学路沿いの公共施設に防犯 カメラシステムを設置し、通学 途中の児童等の防犯を図るもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度 実 施 状 況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○防犯ブザー 5,000個 ○ランドセル用防犯ブザー ストラップ 5,000本 ○ランドセルシール 5,000枚 ※対象は2008年(平成20年)4月 入学児童	各学区の青少年補導員協議会・ まちづくり推進委員会の構成団体 や地域住民と連携を図りながら、 登下校時の見守りや、不審者情報 の共有化を図るとともに、非行防 止・環境浄化を中心とした補導活 動など、地域におけるパトロールを 実施した。	通学路沿いの公共施設3か所 に、防犯カメラシステム(防犯灯・カ メラ・緊急ボタン)の3点セット)を設 置し、児童・生徒等の安全確保とと もに、地域の安全対策を図った。 2008年度設置場所 ・日吉台学区 県営日吉台住宅 公園 ・新涯学区 新涯四丁目公園 ・赤坂学区 赤坂駅自転車駐車場
	2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 ○防犯ブザー 5,000個 ○ランドセル用防犯ブザー ストラップ 5,000本 ○ランドセルシール 5,000枚 ※対象は2009年(平成21年)4月 入学予定児童	地域における子どもの安全確保 のため、関係機関・団体や地域住 民に対して、先進的な取組事例な どを情報提供するとともに、広く市 民に周知を図り、子どもの安心・安 全や地域防犯に対する意識の高 揚に取り組む。また、関係機関・団 体等や関係部署と連携を図りなが ら、これまでの事業を継続しなが ら、さらに充実・強化する。	2006～2008年度実施分(9台)に 加え、2009年度も新たに防犯カメラ システムを設置することにより、児 童・生徒等の安全確保とともに、地 域の安全対策をさらに強化する。
	(予算額:千円)	2,490	1-2-8に含む	4,200
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-2	5-2-3
担当部課		人権推進部青少年課	人権推進部青少年課	人権推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保 (地域安全マップ普及推進事業)	非行防止活動の推進	「こども110番の家」推進事業
事業概要		「地域安全マップセミナー」を開催し、指導者を養成するもの また、地域安全マップ作成品・教材ビデオの貸出しや指導者を派遣し、地域におけるマップ作成を推進するもの	関係機関・団体等との連携強化による非行防止の推進を図るもの	子どもを犯罪等の被害から守るため、市内全学区に「こども110番の家」の活動を実施し、地域の住民と連携して、子どもを被害から守る活動の支援を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○地域における犯罪を未然に防止するため、市内全学区を対象に、「地域安全マップ作成セミナー」を開催した。 10月4日 参加者 21人  ○「地域安全マップ作成品・教材ビデオ」の貸出し・指導者の派遣を行い、地域における安全マップ作成を推進した。 派遣 12回、グッズ貸出 18回  ○安心安全講座として、「携帯電話の適正利用講習会」を開催し、子どもがさらされているネット犯罪・被害に関する知識を深めるとともに対応法について考えた。 11月6日 参加者 46人	関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を実施した。 また、青少年補導員協議会や中央少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施した。	○防犯に関する意識啓発・PRの推進や、「こども110番の家」表示プレートやマニュアルを作成し、配布した。また、地域での活動に対する支援の推進を図るため「青少年センターだより」を発行し、学区青少年補導員と110番の家に配布し、情報の共有化と運動の進展を図った。 協力軒数5,968軒(2009年1月末) ○自主的に「こども110番事業」に取り組んでいる市内の民間事業者等と「こども110番事業ネットワーク会議」を開催し、情報の共有化・啓発活動に努めた。安心・安全ポスター作製。 ○ばら祭等イベントでパネル展示等ブース出展を行い、市民の安全意識の高揚に努めた。 ○各学区110番の家実態調査実施
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 「こども110番の家」をさらに拡充し強化を図る。 継続して啓発活動を実施。(前年度作製ポスターの配布。イベント等での啓発活動、情報紙の発行)	
(予算額:千円)		0	1-2-8に含む	24
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-3-1	5-4-1	5-4-2
担当部課		人権推進部青少年課	市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		社会環境浄化活動の推進	交通安全教室	チャイルドシート着用の啓発
事業概要		行政、関係機関、関係団体等が連携を強化する中で、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組むもの	小学校の入学児童や保育所・幼稚園の入所(園)児童を対象にした、交通公園等での参加・体験・実践型の交通安全教室や、交通安全教育専門員の派遣による移動交通安全教室、「交通ファミリーランド」を開催し、交通安全意識の普及啓発を行うもの	乳幼児の安全確保のため、チャイルドシートの正しい着用の徹底について啓発を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
08年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	少年社会環境浄化モニターによるたばこ販売者への啓発活動を実施した。 また、関係機関・団体等と連携する中で、白ポストの改修、娯楽施設等への協力依頼、自販機・図書類販売者への立入調査等、青少年を取り巻く社会環境の浄化諸事業を実施した。	交通安全教育専門員(5名)による交通安全教室の開催 ○教室開催数 436回 ○参加者数 延べ55,466人 【課題等】 交通安全教室未実施の保育所・幼稚園・中学校・老人クラブ等への開催依頼	交通安全運動期間中及び各種イベント開催時に啓発チラシを配布し、シートベルト及びチャイルドシートの正しい着用の徹底を啓発した。	
2009年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 前年度の実施内容をさらに充実・強化し、環境浄化に努める。	【継続 ■ 廃止 □】 交通安全教室 ○教室開催数 約460回 ○参加者数 約58,000人	【継続 ■ 廃止 □】 四季の交通安全運動や各種イベント等において、シートベルト及びチャイルドシートの正しい着用の徹底を広報・啓発する。	
(予算額:千円)	687	9,781	0	
備考 (特記事項)				

2009年度(平成20年度)  
**新 規 事 業**

【新規事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-4	3-5-8	3-5-10
担当部課		人権推進部青少年課	社会教育部中央図書館	ふくやま芸術文化振興財団(美術館)
具体的な施策 (個別事業名)		子ども議会	子ども読書活動推進計画策定事業	小・中・高校生までの 特別展観覧の無償化
事業概要		次代を担う小学校5・6年生及び中学生を対象に、市政に対する意見を募集し、子どもの視点で福山市のまちづくりについての提案・提言を行うことにより、将来の責任ある市民としての権利や義務を正しく理解し、社会参加へ向けた基礎教育の場とするもの	読書活動を通じて、言葉を学んだり、豊かな感性や想像力、表現力を養うため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を踏まえ、子どもが自主的に読書活動のできる環境整備を図るための施策の推進に関する本市の「子ども読書活動推進計画」を策定するもの	美術館の特別展を小・中・高校生まで無料で観覧
数値目標等		—	—	—
	現状値	—	—	—
	目標値	—	—	—
2009年度計画		①市内に在籍する小学5・6年生及び中学生50人程度を「環境・まちづくり・学校生活・安心安全・観光振興」の5つのテーマに分け募集  ②土・日曜日及び夏季休業日に4回程度の会議、10月に子ども議会を開催  ③会議では、議会の説明、テーマに関する現地視察、質問書の作成や代表質問者の選出等、10月議会へ向けた取り組みを予定  ④答弁者は、市長・教育長・代表質問に関係する局部長  ⑤経過は、市HP・青少年センターだより・学校通信等で報告	策定委員会を数回開催し(期間中、パブリックコメントを実施)、本市の「子ども読書活動推進計画」を策定する。	指定管理事業 特別展 ①エミール・ガレ 陶器のジャポニズム ②イタリアの印象派 マッキアイオーリ展  自主事業 特別展 ①没後50年 北大路魯山人展 ②山本容子のワンダーランド ③中国陶磁の世界展
(予算額:千円)		65	385	57,922
備考 (特記事項)				予算額は特別展事業費  2007年度特別展高校生以下の有料入場者数 4177人

2009年度(平成20年度)  
**新 規 事 業**

【新規事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-11	5-1-1	5-4-3
担当部課		市民部市民相談課	都市部公園緑地課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		マウイ高校生派遣事業	都市公園バリアフリー化整備事業	自転車利用者対策事業
事業概要		将来を担う高校生をアメリカ合衆国ハワイ州マウイ郡に派遣し現地の高校生との交流やホームステイ体験、「マウイカウンティフェア」への参加を通して視野を広め、国際社会に適應できる人材を育成する。また、福山市の代表として、公式行事に参加し、福山市とマウイ郡の更なる親善友好関係の促進に寄与するもの	高齢者から乳幼児まで誰もが安心・安全に利用できるよう、既設公園の園路や便所についてバリアフリーに配慮した整備を行うとともに老朽化した施設の改修を行うもの	安心して安全に暮らせる都市づくりに向け、自転車利用者、特に中学生、高校生等を対象に、自転車の交通事故と盗難の防止を図るため、所有者、利用者としての自覚と責任を持った管理と利用を促すことを目的に、関係機関・団体との連携により、自転車所有者、利用者への指導・啓発活動を推進するもの
数値目標等		—	—	—
	現状値	—	—	—
	目標値	—	—	—
2009年度計画		○福山市内に在住する高校生30名と引率者5名を派遣 ○「マウイカウンティフェア」の初日に実施されるパレードに参加し福山をPR ○マウイ郡における「福山の日」10月3日に郡長を表敬訪問 ○ホームステイ ○マウイ郡の高校を訪問し、現地高校生との交流	ばら公園整備 設計業務委託 園路改修	街頭指導・啓発活動は市内全域において、特に自転車利用者の多い場所や盗難の多い場所を選択し、関係機関・団体等と協議するなかで実施する。
(予算額:千円)		3,594	30,000	340
備考 (特記事項)				